

サイボウズ ガルーン

バージョン 3.5

インストールマニュアル

第 4.6 版

サイボウズ株式会社

はじめに

本書は、1 台のサーバーマシンに「サイボウズ ガルーン バージョン 3.5.0」をインストールする手順と、インストール後の初期設定について説明します。ガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップする手順についても説明します。

アプリケーションサーバーとデータベースサーバーを分離した環境でインストールまたは、バージョンアップする場合は、『サーバー分離構成インストールマニュアル』を参照してください。

対象読者

本書の対象読者は次のとおりです。

- 作業員: サイボウズ ガルーンのインストールを担当する作業員です。

本書で使用している表記

本書では、次の表記を使用しています。

表記	意味
重要	特に重要な注意事項
注意	操作に注意が必要な事項や制限事項
補足	操作の補足説明や別の操作方法、知っているると便利な情報
[]	画面上のボタン、リンクまたはタブ
- ### ページ	参照先のページ

本書の作成環境

本書の作成環境は、次のとおりです。

- OS: Windows Server 2008 Standard x64(SP2)
- Web ブラウザー: Internet Explorer 8
- 製品バージョン: サイボウズ ガルーン バージョン 3.5.0

本書で掲載している画面表示は、お使いの Web ブラウザーによって異なります。

本書で使用している製品名称と略称

本書では、次の略称を使用しています。

略称	製品名
ガルーン	サイボウズ ガルーン バージョン 3.5.0
Zaseki7 for ガルーン 2	Zaseki7 for サイボウズ ガルーン バージョン 2.x.x
全文検索サーバー	サイボウズ ガルーン 3 全文検索サーバー

本書の取り扱いについて

この文書内における掲載情報の二次利用においては、ご自身の判断と責任の下に行ってください。

サイボウズ株式会社は、それらの情報をご利用になることにより発生したあらゆる商業的損害・損失を含め一切の直接的、間接的、特殊的、付随的または結果的損失、損害について責任を負いません。

また、本文書を二次利用し作成した文書には、次のような当社の著作権表示文を記載してください。

「本文書は、サイボウズ株式会社による『ガルーンインストールマニュアル』を一部引用しています。」

商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。
個別の商標・著作物に関する注記については、弊社の Web サイトを参照してください。
http://cybozu.co.jp/company/copyright/other_companies_trademark.html
なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。
- OpenSSL (Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.)
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(<http://www.openssl.org/>)
This product includes cryptographic software written by Eric Young
(eay@cryptsoft.com)
This product includes software written by Tim Hudson
(tjh@cryptsoft.com)

目次

はじめに	2
目次	4
1章 作業前に確認すること	6
1.1 動作環境	6
1.1.1 サーバー環境構築例	7
1.2 ネットワークの設定	8
2章 インストールする	9
2.1 インストールの準備をする	9
2.2 Windows 環境にインストールする	10
2.2.1 インストールの準備をする	10
2.2.2 インストールする	11
2.2.3 初期化する	17
2.3 Linux 環境にインストールする	20
2.3.1 インストールの準備をする	20
2.3.2 インストールする	20
2.3.3 初期化する	23
2.4 ガルーンを使用するために必要な項目を設定する	25
2.4.1 お客様情報を登録する	25
2.4.2 システム管理者を指定する	25
2.4.3 サイボуз データベースエンジンの設定を変更する	26
3章 バージョンアップする	29
3.1 Windows 環境でバージョンアップする	30
3.1.1 バージョンアップの準備をする	30
3.1.2 バージョンアップする	31
3.1.3 32bit 版から 64bit 版のガルーンにバージョンアップする	33
3.1.4 バージョンアップが中止された場合の対処方法	35
3.2 Linux 環境でバージョンアップする	38
3.2.1 バージョンアップの準備をする	38
3.2.2 バージョンアップする	39
3.2.3 32bit 版から 64bit 版のガルーンにバージョンアップする	41

3.3	バージョンアップ後に必要な作業	43
3.3.1	ログを確認する	43
3.3.2	テーブルキャッシュサイズを変更する	44
3.3.3	認証パスワードを再設定する	45
3.3.4	ライセンスを登録する	46
3.3.5	権限削除プログラムを実行する	46
3.3.6	PHP ポートレットを確認する	48
3.3.7	LDAP に SSL で接続する場合の確認事項	48
3.3.8	リモートサービスの製品情報を更新する	48
3.4	バージョンアップに失敗したガルーンの復旧方法	49
4章	アンインストールする	50
4.1	Windows 環境でアンインストールする	50
4.2	Linux 環境でアンインストールする	52
付録A	サービスの停止方法と起動方法	53
付録A.1	サービスを停止する	53
付録A.2	サービスを起動する	53
付録B	ファイル構成	54
付録B.1	Windows 環境のファイル構成	54
付録B.2	Linux 環境のファイル構成	56
索引		60

1 章 作業前に確認すること

ガルーンの動作環境やネットワークの設定について説明します。インストールやバージョンアップの作業をする前に必ずこの章をお読みください。

1.1 動作環境

ガルーンの動作環境は次のとおりです。(2013 年 4 月現在)

注意

- 製造元のサポートが終了している製品、サービスは動作環境に含まれません。

対応 OS

OS	バージョン
Windows	Windows Server 2008 Standard(SP2) Windows Server 2008 Enterprise(SP2) Windows Server 2003, Standard Edition (SP2) Windows Server 2003, Enterprise Edition (SP2) Windows Server 2003 R2, Standard Edition(SP2) Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition (SP2)
Windows (64bit)	Windows Server 2012 Standard Windows Server 2008 R2 Standard x64(SP1) Windows Server 2008 R2 Enterprise x64(SP1) Windows Server 2008 Standard x64(SP2) Windows Server 2008 Enterprise x64(SP2) Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition(SP2) Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition(SP2) Windows Server 2003, Standard x64 Edition(SP2) Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition(SP2)
Linux	SUSE Linux Enterprise Server 11 Red Hat Enterprise Linux 6 Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform Red Hat Enterprise Linux 5 Red Hat Enterprise Linux AS (v. 4) Red Hat Enterprise Linux ES (v. 4)
Linux (64bit)	SUSE Linux Enterprise Server 11 Red Hat Enterprise Linux 6 Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform Red Hat Enterprise Linux 5 Red Hat Enterprise Linux AS (v. 4) Red Hat Enterprise Linux ES (v. 4)

対応 Web サーバー

OS	Web サーバー
Windows	Apache 2.0.x、2.2.x インターネット インフォメーション サービス (IIS) 6.0、7.0、7.5、8.0
Linux	Apache 2.0.x、2.2.x

対応 Web ブラウザー

OS	Web ブラウザー
Windows	Internet Explorer 6、7、8、9、10 Mozilla Firefox 最新版 Google Chrome 最新版
Mac OS	Safari 最新版 Mozilla Firefox 最新版
iOS 4、5、6	Safari 最新版
Android 2、3、4	Android 標準 Web ブラウザー

補足

- ガルーンは、仮想化環境でも動作します。仮想化環境で使用する場合、お客様の環境によっては、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- 最新の動作環境や制限事項については、弊社 Web サイトを参照してください。
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/product/environment/>

メールサーバー

メールクライアント機能を利用する場合、メールサーバーが別途必要です。対応しているメールサーバーは、次のとおりです。

プロトコル

- SMTP
 - SMTPS
 - POP3
 - POP3S
 - IMAP4
- IMAP4 はメール受信機能のみに対応しています。その他の機能は使用できません。

認証形式

- APOP
- POP before SMTP
- SMTP Authentication (SMTP 認証)

1.1.1 サーバー環境構築例

利用ユーザー数によって、ガルーンをインストールするサーバーの構成が異なります。サーバーの構築例については、弊社 Web サイトを参照してください。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/product/construction/>

1.2 ネットワークの設定

ガルーンと Web ブラウザーとの通信には HTTP または HTTPS を使用します。ファイアウォールを経由してガルーンに接続する場合は、通信に使用するプロトコルに合わせたポートを開ける必要があります。

プロトコルとポート番号の使用例

プロトコル	一般的なポート番号
HTTP	80
HTTPS	443

ガルーンとデータベースエンジンの通信

- データベースエンジンとの通信に使用するポートは、サーバー外部からアクセスする必要がないため、必ず閉じてください。また、ポート番号は、外部に公開しないでください。
- ガルーンがデータベースエンジンとの通信に使用するポート番号は、通常は 3770 です。
- インストールした環境によって、異なるポート番号が設定される場合があります。
- データベースエンジンのポート番号は、「データベースサーバー設定ファイル」(my.ini ファイル)で確認できます。
- 既定のディレクトリーにガルーンをインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリーにあります。
Windows 環境: C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\etc\my.ini
Linux 環境: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

ポート番号の設定

```
[mysqld]
port = 3770
```

次の機能を使用する場合、ガルーンをインターネットに接続できる環境が必要です。また、ネット連携サービスとサイボウズからのお知らせは、日本語のみの提供です。

- ネット連携サービス(天気予報、六曜)
- サイボウズからのお知らせ
- RSS リーダー(インターネット上のサイトを登録する場合)

2章 インストールする

ガルーンをインストールする手順を説明します。

補足

- ガルーンで利用している LDAP に SSL で接続する場合には、設定が必要です。手順については、弊社の Web サイトを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/sslsetup.html>
- Windows 環境で SSL を使用する場合は、弊社の Web サイトで制限事項を確認してください。
<https://support.cybozu.com/ja-JP/article/4139>

2.1 インストールの準備をする

ガルーンをインストールするために準備するプログラムと情報は、次のとおりです。

項目	説明
インストーラー	最新版のインストーラーは、弊社 Web サイトからダウンロードできます。次の弊社 Web サイトは、日本語で記載されています。 http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/
Administrator または superuser のパスワード	ガルーンを管理するユーザーのパスワードです。ガルーンを初期化するために必要です。
システム管理者の情報	ガルーンを管理するシステム管理者の情報です。 <ul style="list-style-type: none"> • ユーザー名 • ログイン名 • パスワード
お客様情報	ガルーンを導入するお客様の情報です。 <ul style="list-style-type: none"> • 法人名 • 法人名 (読みがな) 画面に表示するロゴを変更する場合は、次のどちらかを準備します。 <ul style="list-style-type: none"> • 画像ファイル • 画像ファイルの保存先を示す URL
ドキュメントルートディレクトリー	ガルーンの HTML ファイルや画像ファイルなどを保存するディレクトリーです。
CGI 実行可能ディレクトリー	ガルーンの CGI プログラムや、設定ファイルなどを保存するディレクトリーです。
インストール識別子	ガルーンを識別するための文字列です。使用できる文字は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 「a」から「z」までの、小文字のアルファベット • 「A」から「Z」までの、大文字のアルファベット • 「_」(アンダーバー) • 「0」から「9」までの数字 補足: <ul style="list-style-type: none"> • 先頭の文字に、数字は使用できません。 • 使用できる文字数は、最大 10 文字です。 • すでにほかのサイボウズ製品をインストールしている場合は、既存のインストール識別子と異なる識別子を指定してください。
データベース管理ユーザーのパスワード	サイボウズ データベースエンジンを管理するユーザー (cbroot) のパスワードです。パスワードは厳重に管理してください。
データベース接続ユーザーのパスワード	サイボウズ データベースエンジンに接続するユーザーのパスワードです。パスワードは厳重に管理してください。

標準データとサンプルデータとは

標準データやサンプルデータにはガルーンの機能を理解するために、便利な情報やデータがまとめられています。初期化時に表示言語を日本語にした場合のみ、標準データとサンプルデータを利用できます。

標準データ

標準データには、祝日や予定メニューなどのデータが登録されています。ガルーンにユーザーを新規で登録して使用する場合は、標準データのインストールを推奨します。

サンプルデータ

サンプルデータには、ユーザー、組織、予定などのデータが登録されています。サンプルデータに含まれるユーザーを使用して、ガルーンの機能を試すことができます。

補足

- ガルーンを初期化すると、標準データやサンプルデータが削除されます。
 - Windows 環境
「2.2.3 初期化する」 - 17 ページ
 - Linux 環境
「2.3.3 初期化する」 - 23 ページ

2.2 Windows 環境にインストールする

ガルーンを Windows Server 2008 の環境にインストールする手順を説明します。次の環境が使用されている場合を例に説明します。

- Web サーバー: IIS 7.0
- Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリー: C:\inetpub\scripts
- Web サーバーのドキュメントルートディレクトリー: C:\inetpub\wwwroot

2.2.1 インストールの準備をする

次の内容を確認したあと、インストールを開始します。

Web サーバーをインストールしていますか？

サーバーに Web サーバーをインストールして、CGI を実行できるように設定します。

「対応 Web サーバー」- 6 ページ

「Windows Server 2008 環境で、IIS7 を利用する場合」- 16 ページ

「Windows Server 2003 環境で、IIS6 を利用する場合」- 17 ページ

補足

- Web サーバーをインストールする手順については、弊社の Web サイトを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webinstall/>
- scripts については、弊社の Web サイトを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webalias/>

インストールに必要な情報を準備していますか？

Administrator のパスワードやインストール識別子などを準備します。

「2.1 インストールの準備をする」 - 9 ページ

2.2.2 インストールする

Windows 環境に、ガルーンをインストールする手順を説明します。

重要

- 古いバージョンのガルーンがインストールされているサーバーマシンに、新しいバージョンのガルーンをインストールしないでください。1 台のサーバーマシンに異なるバージョンのガルーンをインストールすると、古いバージョンのガルーンを使用できなくなります。

注意

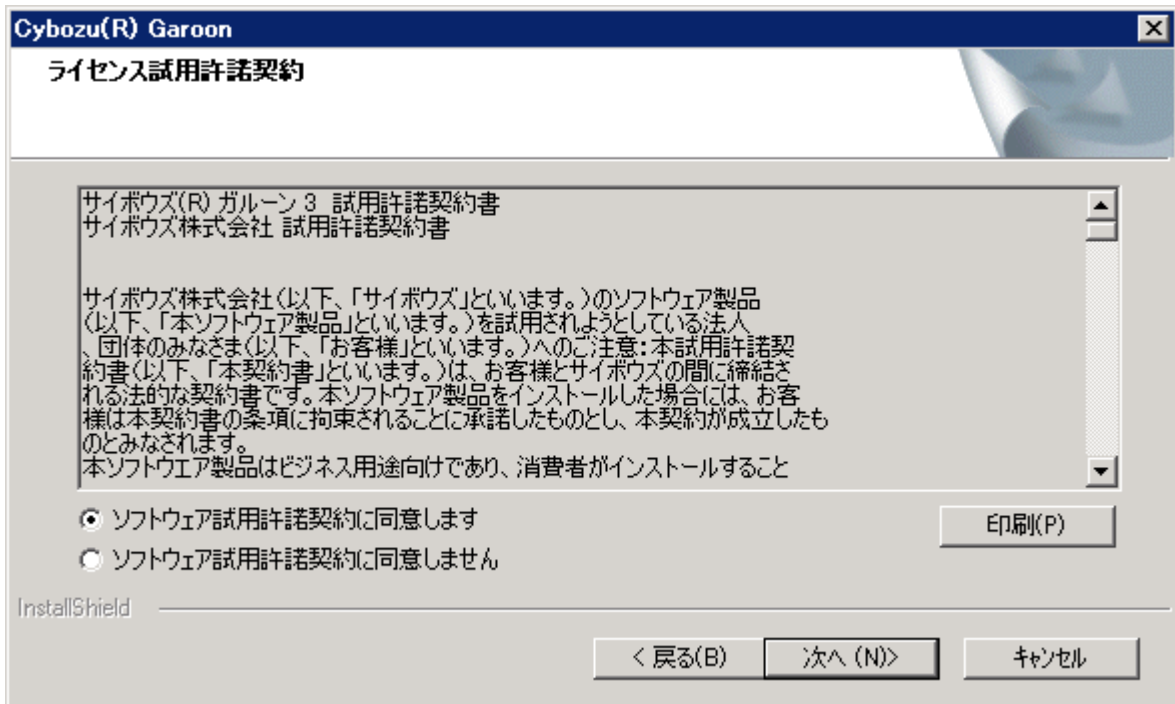
- インストール作業を開始する前に、すべての Windows プログラムを終了する必要があります。
- Web サーバーをインストールしている場合は、Web サーバーが起動していることを確認します。
- データベース管理ユーザーおよびデータベース接続ユーザーのパスワードは厳重に管理してください。パスワードを忘れると、パスワードを再設定したりガルーンを別のサーバーに移行したりできません。
- 1 台のサーバーに複数のガルーンをインストールした状態での運用は避けてください。
- Microsoft Visual C++ 2008 SP1 再頒布可能パッケージがインストールされます。削除しないでください。

- 1 サーバーマシンに、インストール先のサーバーの Administrator 権限を持つユーザーでログインします。
- 2 インストーラーを C:\%Temp などの任意の場所に配置します。
- 3 インストーラーを起動し、[次へ]をクリックします。
インストールを中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。



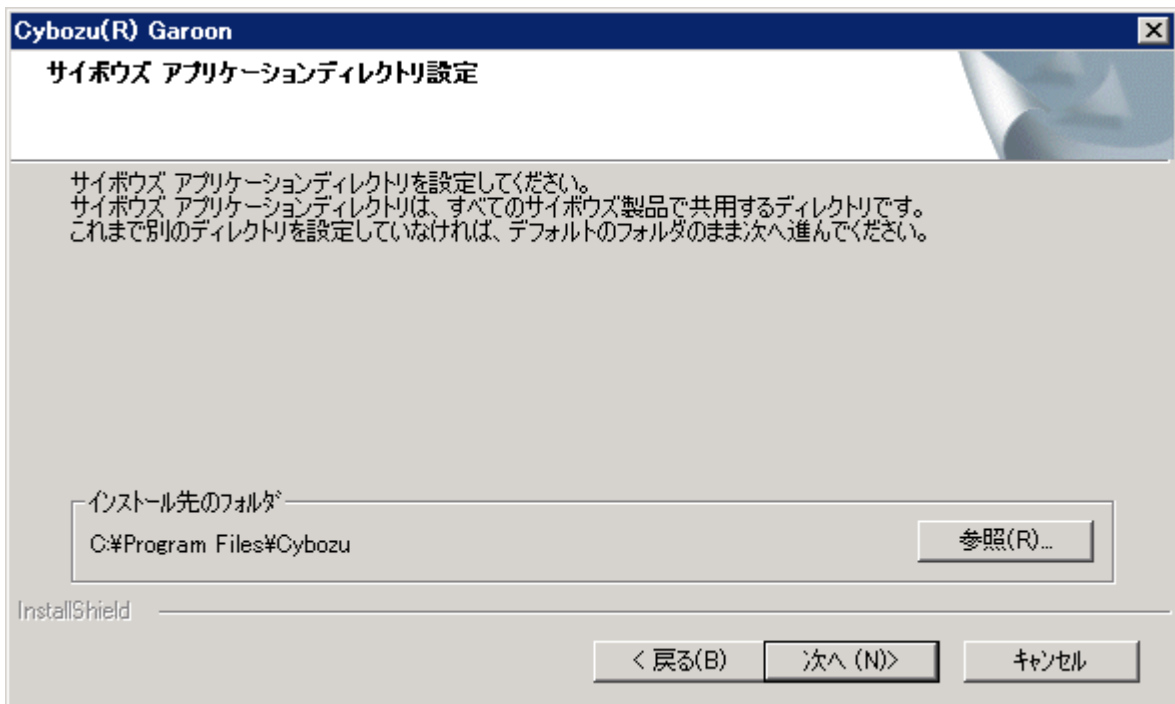
- 4 試用許諾契約を確認し、同意する場合は「ソフトウェア試用許諾契約に同意します」を選択し、[次へ]をクリックします。

試用許諾契約に同意しない場合は、[キャンセル]をクリックします。インストーラーが終了します。

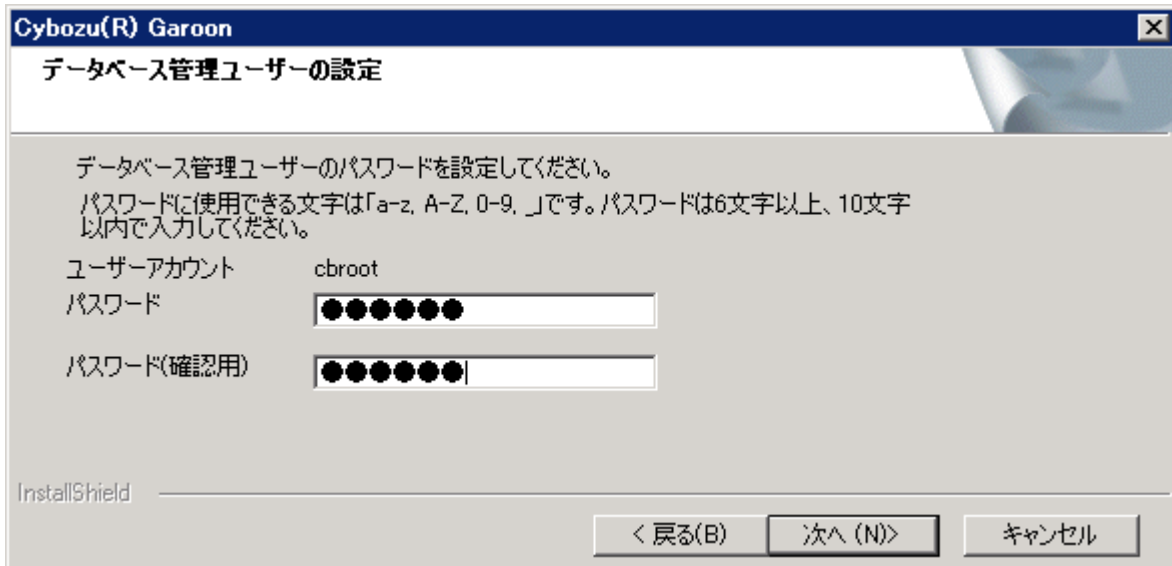


- 5 サイボウズ アプリケーションディレクトリ設定を確認し、[次へ]をクリックします。

サイボウズ アプリケーションディレクトリを変更する場合は、[参照]をクリックして、インストールディレクトリを指定します。



- 6 データベース管理ユーザのパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。



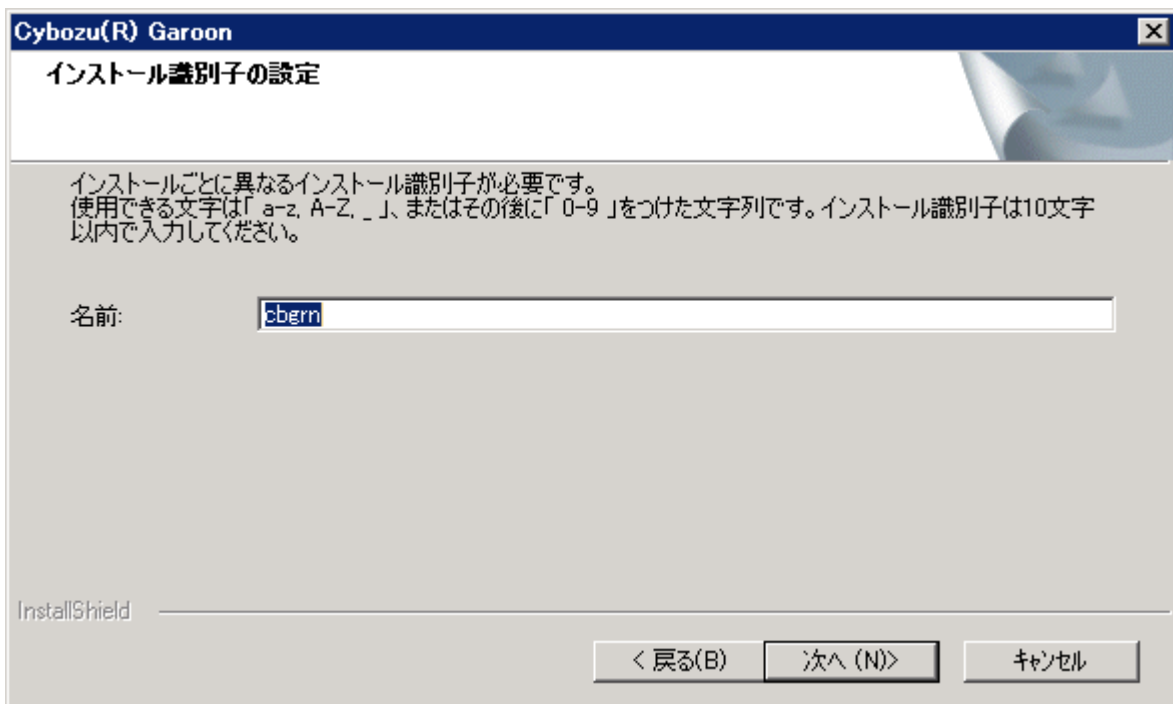
7 インストール識別子を確認し、[次へ]をクリックします。

すでにサイボウズ製品をインストールしている場合は、重複しない識別子を使用します。ここで入力したインストール識別子が、ガルーンにアクセスする URL に使用されます。

IIS が起動していない、または IIS がインストールされていない場合は、「Web サーバーをインストールしますか？」と表示されます。[はい]をクリックすると、Apache がインストールされます。

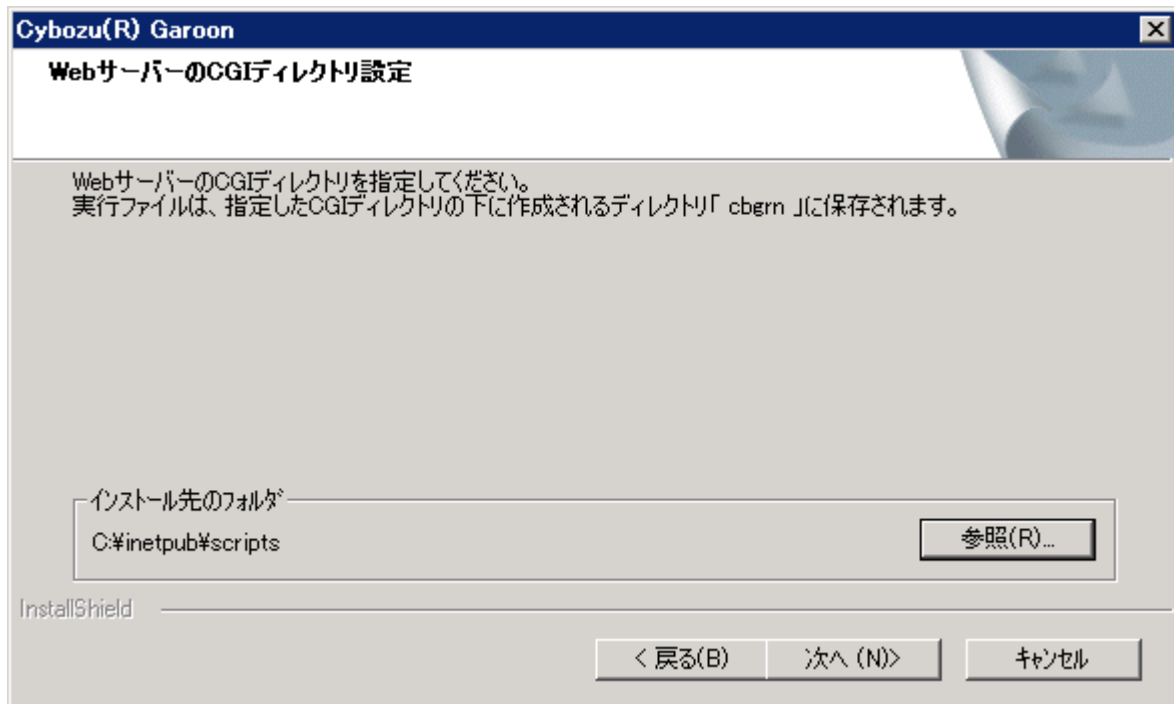
「Web サーバーをインストールしていますか？」 - 10 ページ

「Web サーバーをインストールする」 - 16 ページ

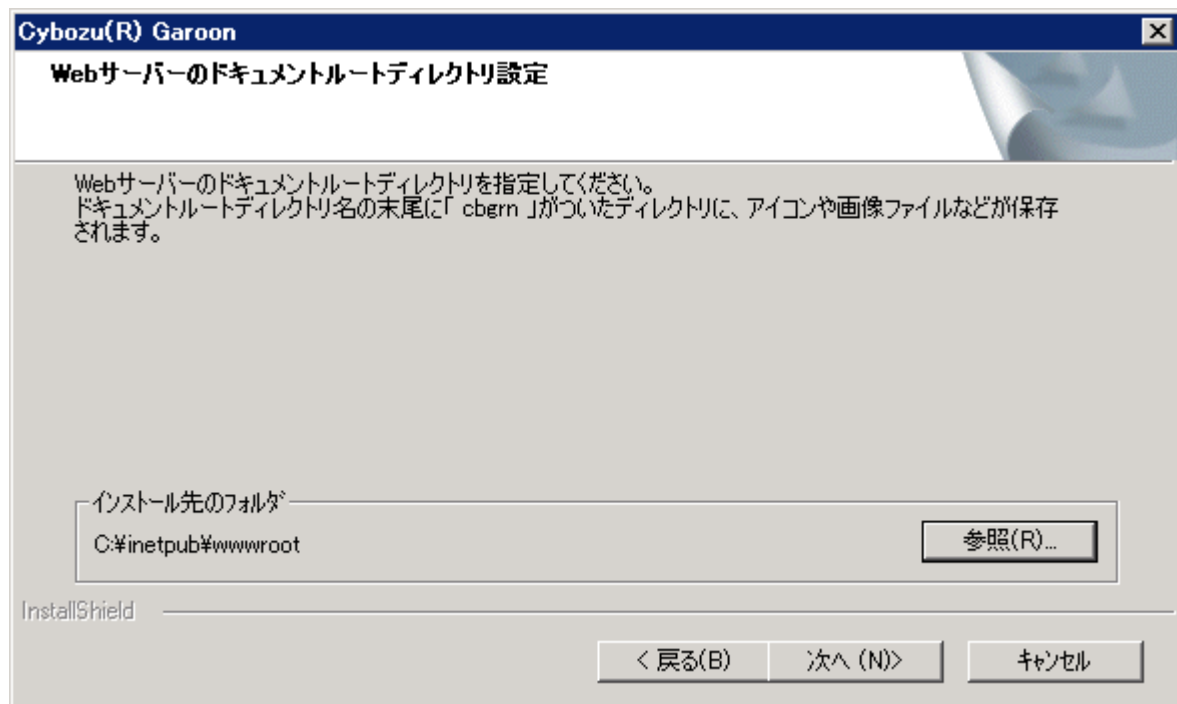


8 Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリーを確認し、[次へ]をクリックします。

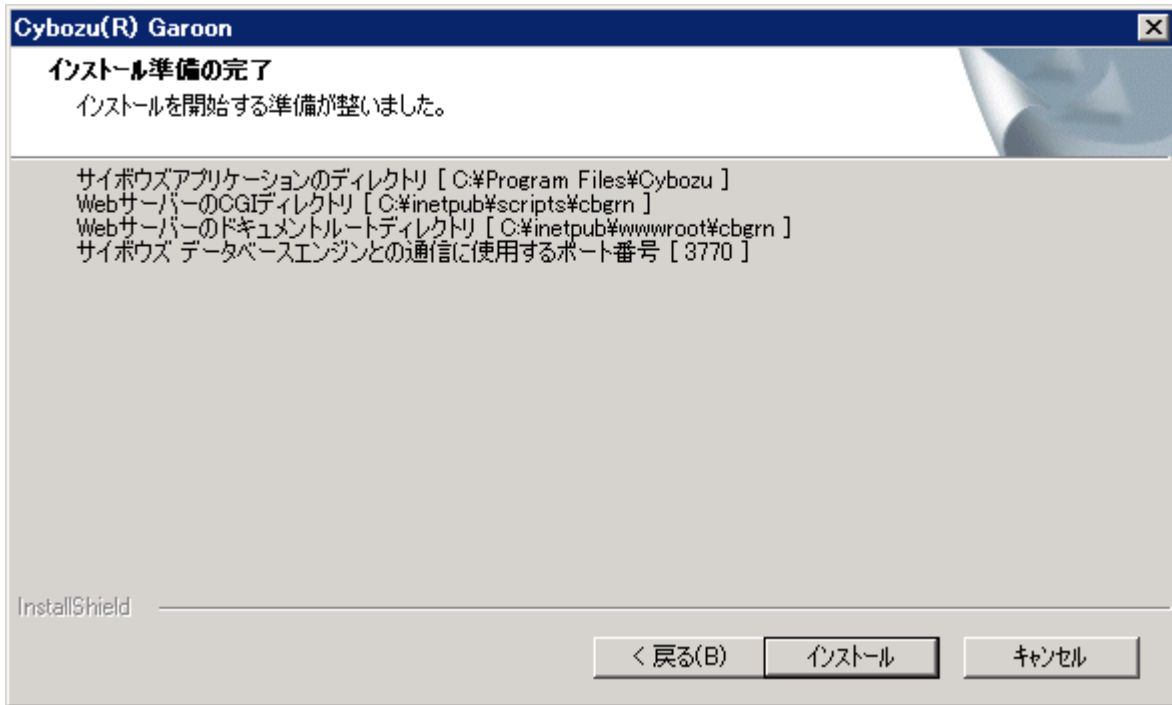
CGI 実行可能ディレクトリーを変更する場合は、[参照]をクリックしてディレクトリーを指定します。



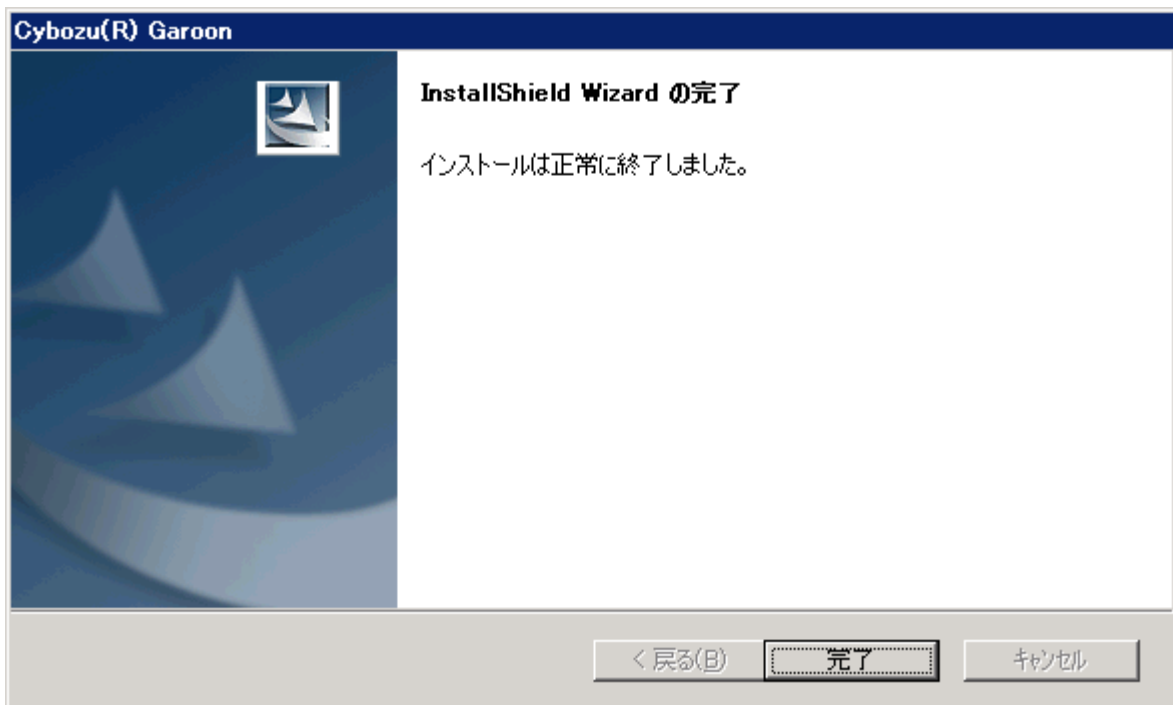
- 9 Webサーバーのドキュメントルートディレクトリを確認し、[次へ]をクリックします。
ドキュメントルートディレクトリを変更する場合は、[参照]をクリックしてディレクトリを指定します。



- 10 表示されている内容を確認し、[インストール]をクリックします。
インストールが始まります。



- 11 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。



- 12 ガルーンを初期化します。

「2.2.3 初期化する」 - 17 ページ

補足

- ガルーンの URL にアクセスしても正常に画面が表示されない場合は、次の内容を確認します。
- IIS の次のユーザーがドキュメントルートディレクトリにアクセスできることを確認します。
 - Windows Server 2008 の場合 : IUSR
 - Windows Server 2003 の場合 : IUSR_<コンピュータ名>

2章 インストールする

- Web サーバーに仮想ディレクトリーが正しく設定されていることを確認します。
仮想ディレクトリーの作成方法は、弊社 Web サイトを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webalias/>
- ガルーンとデータベースエンジンのインストールログは、まとめて出力されます。初期設定でガルーンをインストールした場合のインストールログの保存先は、次のとおりです。
 - 64bit OS: C:\WINDOWS\SysWow64\cb_installer.log
 - 32bit OS: C:\WINDOWS\System32\cb_installer.log

Web サーバーをインストールする

Web サーバーがインストールされていない、または停止している場合は、「2.3.2 インストールする」の手順 6 のあとに、「Web サーバーをインストールしますか？」と表示されます。

- [はい]をクリックすると、Web サーバー(Apache HTTP Server 2.2)がインストールされます。
- [いいえ]をクリックすると、Web サーバーとガルーンのインストールが中止されます。

補足

- ガルーンのインストーラーを使用して Web サーバーをインストールした場合、初期設定では次のディレクトリーに Web サーバーがインストールされます。
 - CGI 実行可能ディレクトリー: C:\Program Files\Cybozu\Apache2.2\cgi-bin
 - ドキュメントルートディレクトリー: C:\Program Files\Cybozu\Apache2.2\htdocs
- Windows Server 2008 の 64bit 環境で Apache を利用する場合、Apache のファイルは初期値では、次のディレクトリーに保存されます。
C:\Program Files (x86)\Cybozu

Windows Server 2008 環境で、IIS7 を利用する場合

Windows Server 2008 環境で、IIS7 を利用する場合は、ガルーンのインストール後に次の設定が必要です。標準のインストール先ディレクトリーに、ガルーンをインストールした場合を例として説明しています。

- 1 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サーバー マネージャ]の順に選択します。
- 2 [役割] > [Web サーバー(IIS)] > [インターネット インフォメーション サービス(IIS) マネージャ]の順に選択します。
- 3 「接続」画面から、[サイト] > [Default Web Site] > [scripts]を選択します。
- 4 [ハンドラ マッピング]をダブルクリックして、[CGI-exe]を選択し、[編集]をクリックします。
- 5 「モジュール マップの編集」画面で、「実行可能ファイル(E):」に、grn.exe までのパスを入力し、[OK]をクリックします。
例: C:\inetpub\scripts\cbgrn\grn.exe
- 6 「この ISAPI 拡張機能を有効にしますか？」と表示されたら、[はい(Y)]をクリックします。

補足

- 同じ仮想ディレクトリーに、scripts を使用するほかの exe ファイルがある場合は、各 exe ファイルに、スクリプト マップを設定する必要があります。

例: 初期値でデヂエを使用している場合は、次のスクリプト マップを追加します。

要求パス: db.exe
実行可能ファイル: C:\inetpub\scripts\cbdb\db.exe
名前: db.exe

- ISAPI 拡張機能を有効に設定すると、ガルーンのプログラムが IIS のプロセス上で実行されるようになります。

Windows Server 2003 環境で、IIS6 を利用する場合

Windows Server 2003 環境で、IIS6 を利用する場合は次の設定が必要です。標準のインストール先ディレクトリーに、ガルーンをインストールした場合を例として説明しています。

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム(P)] > [管理ツール] > [インターネットインフォメーションサービス(IIS) マネージャー]を選択します。
- 2 [Web サイト] > [既定の Web サイト] > [scripts] を選択します。
- 3 [scripts]を右クリックし、[新規作成] > [仮想ディレクトリ]を選択します。
- 4 [次へ]をクリックし、「エイリアス(A):」に、cbgrn と入力します。
- 5 「パス(P):」に、次のパスを入力し、[次へ]をクリックします。
例: C:\inetpub\scripts\cbgrn
- 6 「ISAPI アプリケーションや CGI などを実行する(E)」のチェックボックスを選択して、[次へ]をクリックします。
- 7 [完了]をクリックします。

2.2.3 初期化する

ガルーンの Administrator のパスワードと、データベース接続ユーザーのパスワードを設定し、ガルーンを初期化します。

コマンド プロンプトで initialize.bat を実行して初期化します。

注意

- ガルーンの初期化中に初期化をキャンセルすると、ガルーンが使用できなくなる場合があります。ガルーンの初期化を途中でキャンセルした場合は、初期化する前のガルーンに戻して最初から操作をやり直してください。
- 標準データやサンプルデータを削除するには、ガルーンを初期化する必要があります。初期化した場合、ほかのデータも削除されます。

1 initialize ディレクトリーに移動します。

ガルーンのインストール完了後に続けて初期化する場合、この操作は不要です。手順 3 に進みます。

コマンド プロンプトを起動し、次のコマンドを実行します。

```
cd (CGI 実行可能ディレクトリー)\(インストール識別子)\initialize
```

例: cd C:\inetpub\scripts\cbgrn\initialize

2 次のコマンドを入力し、Enter キーを押します。

```
initialize.bat ja "C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0" cybozu
```

2章 インストールする

- initialize.bat の説明

コマンド:

initialize.bat [言語] [MySQL ディレクトリーパス] [データベース管理ユーザーのパスワード]

引数:

言語	次のいずれかを入力します。 ja: 日本語です。タイムゾーンは「Asia/Tokyo」になります。 en: 英語です。タイムゾーンは「Europe/London」になります。 zh: 中国語です。タイムゾーンは「Asia/Shanghai」になります。
MySQL ディレクトリーパス	初期設定でガルーンをインストールした場合のディレクトリーパスは次のとおりです。 C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0

3 表示された内容に従って、Y キーまたは N キーを押し、Enter キーを押します。

このメッセージが正しく表示されている場合は Y を入力します。

If the above message is displayed correctly, type 'Y', otherwise type 'N'.

4 データベース接続ユーザーのパスワードを入力し、Enter キーを押します。

ガルーンを初期化します。

データベース接続ユーザーのパスワードを設定してください。

パスワードに使用できる文字は「a-z, A-Z, 0-9, _」です。

パスワードは 6 文字以上、10 文字以内で入力してください。

5 Administrator のパスワードを入力し、Enter キーを押します。

「Administrator」のパスワードを設定してください。

補足:

- Administrator のパスワードに使用できる文字は、a-z (小文字)、A-Z (大文字)、0-9 (数字)、_ (アンダーバー) です。

6 インストールするデータを選択し、Enter キーを押します。

ガルーンにインストールするデータを選択してください。何もインストールしない場合は「なし」を選択してください。

1: 標準データとサンプルデータ

日本の祝日や申請フォームなどの標準データと、ユーザーやポータルなどのサンプルデータをインストールします。ガルーンをすぐに試用できます。

2: 標準データ

日本の祝日や申請フォームなどの標準的なデータをインストールします。サンプルデータはインストールされません。

3: なし

[1|2|3]:

7 表示されている内容を確認し、「yes」を入力して Enter キーを押します。

初期化が始まります。

Summary of initialize configuration

データベース管理ユーザーのパスワード : "cybozu"

データベース接続ユーザーのパスワード : "cybozu"

「Administrator」のパスワード: "cybozu"

データのインストール: [手順 6 で選択した結果]

上記の設定でガルーンを初期化します。よろしいですか？

[yes or no]

「no」を入力し、Enter キーを押すと、初期化が中止されます。

初期化を中止しました。
初期化をやり直す場合は、次のコマンドを実行してください。

```
CD "C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn¥initialize¥"
initialize.bat ja "C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0" [CBROOT_PASSWORD]
```

8 初期化が正常に終了したことを確認します。

インストールが正常に終了しました。
Web ブラウザーを起動し、次の URL にアクセスしてください。

http://(サーバーの FQDN、または IP アドレス)/(CGI ディレクトリの仮想パス)/cbgrn/grn.exe

例)http://webserver.cybozu.co.jp/scripts/cbgrn/grn.exe

例)http://10.10.203.55/scripts/cbgrn/grn.exe

9 ガルーンの初期設定をします。

「2.4 ガルーンを使用するために必要な項目を設定する」-25 ページ

grn_initialize.log を確認する

初期化が正常に終了したかどうかを grn_initialize.log で確認できます。

既定のディレクトリーにガルーンをインストールした場合、grn_initialize.log は次のディレクトリーに保存されています。

C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn

grn_initialize.log の例

```
2011-11-28 18:59:36 Writing to log file: C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn/grn_initialize.log
2011-11-28 18:59:36 Garoon: Version 3.5.0
2011-11-28 18:59:36 Operating System: Windows NT WIN-KZNBVH0EFJH 6.0 build 6002 (Windows Server 2008
Enterprise Edition Service Pack 2) i586
2011-11-28 18:59:36 Command Line Parameters: db_admin_password='cybozu' db_user_password='cybozu'
garoon_admin_password='cybozu' default_timezone='Asia/Tokyo' default_locale='ja' force_initialize='yes'
init_data='2'
2011-11-28 18:59:36 Starting
2011-11-28 19:02:53 Done in 3 minutes 17 seconds.
```

a)

a): 初期化が終了すると、処理にかかった時間が表示されます。

2.3 Linux 環境にインストールする

ガルーンを Linux 環境にインストールする手順を説明します。

次の環境が使用されている場合を例に説明します。

- Web サーバー: Apache
- Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリー: /var/www/cgi-bin
- Web サーバーのドキュメントルートディレクトリー: /var/www/html

2.3.1 インストールの準備をする

次の内容を確認したあと、インストールを開始します。

Web サーバーをインストールしていますか？

サーバーに Web サーバーをインストールして、CGI が実行できるように設定します。

「対応 Web サーバー」 - 6 ページ

- Web サーバーのインストール方法:
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webinstall/>

補足

- Apache のプロセスは prefork 方式で動作するよう設定する必要があります。

インストールに必要な情報を準備していますか？

Administrator のパスワードやインストール識別子などを準備します。

「2.1 インストールの準備をする」 - 9 ページ

SELinux は無効になっていますか？

SELinux が有効になっていると、ガルーンは正常に動作しません。

ガルーンの運用に必要なライブラリーがインストールされていますか？

使用している環境に、ガルーンを運用するために必要なライブラリーがインストールされていることを確認します。

ガルーンが使用するライブラリーについて、詳細は弊社 Web サイトを参照してください。

http://manual.cybozu.co.jp/tech/linux_library.html

2.3.2 インストールする

Linux 環境に、ガルーンをインストールする手順を説明します。

重要

- 古いバージョンのガルーンがインストールされているサーバーマシンに、新しいバージョンのガルーンをインストールしないでください。1 台のサーバーマシンに異なるバージョンのガルーンをインストールすると、古いバージョンのガルーンを使用できなくなります。

注意

- Web サーバーをインストールしている場合は、Web サーバーが起動していることを確認します。
- データベース管理ユーザーのパスワードは厳重に管理してください。パスワードを忘れると、パスワードを再設定したり、ガルーンを別のサーバーに移行したりできなくなります。
- 1 台のサーバーに複数のガルーンをインストールした状態での運用は避けてください。

1 サーバマシンに、root ユーザーでログインします。

2 インストーラーが存在するディレクトリーに移動します。

3 インストーラーを実行します。

- 64bit のインストーラーを使用した場合

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.5.0b-linux-x64.bin
```

- 32bit のインストーラーを使用した場合

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.5.0b-linux.bin
```

4 表示された内容に従って、Y キーまたは N キーを押し、Enter キーを押します。

ガルーンのインストールを開始します。このメッセージが正しく表示されている場合は Y を入力します。

Installing starts. If the above message is displayed correctly, type 'Y', otherwise type 'N'.

5 試用許諾契約を確認し、同意する場合は「yes」を入力して、Enter キーを押します。

画面をスクロールする場合は、Space または Enter キーを押します。

試用許諾契約に同意しない場合は、「no」を入力し、Enter キーを押します。インストーラーが終了します。

6 インストール識別子を入力し、Enter キーを押します。

すでにサイボウズ製品をインストールしている場合は、重複しない識別子を使用します。

ここで入力したインストール識別子がガルーンにアクセスする URL に使用されます。

インストール、アンインストール、またはバージョンアップする製品のインストール識別子を入力してください。

新規にインストールする場合は、他の製品と異なるインストール識別子を入力する必要があります。

使用できる文字は「 a-z, A-Z, _ 」, またはその後に「 0-9 」をつけた文字列です。インストール識別子は 10 文字以内で入力してください。

バージョンアップまたはアンインストールする場合は、すでにインストールしている製品のインストール識別子を入力します。

```
[cbgrn]:
```

7 ガルーンのプログラムとデータのインストールディレクトリーを確認し、Enter キーを押します。

インストールディレクトリーを変更する場合、ディレクトリーを絶対パスで入力し、Enter キーを押します。

プログラムファイルのディレクトリーを指定してください。

データサイズが大きくなるため、ディスク空き容量に注意してください。

```
[/usr/local/cybozu]
```

8 データベース管理ユーザーのパスワードを入力し、Enter キーを押します。

データベース管理ユーザー (cbroot) のパスワードを入力してください。

使用できる文字は「a-z, A-Z, 0-9, _」です。

パスワードは 6 文字以上、10 文字以内で入力してください。

```
Enter Password: cybozu
```

9 データベース接続ユーザーのパスワードを入力し、Enter キーを押します。

2章 インストールする

データベース接続ユーザーのパスワードを入力してください。
Enter Password:cybozu

10 Administrator のパスワードを入力し、Enter キーを押します。

「Administrator」のパスワードを入力してください。
Enter Password: cybozu

11 Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリーを確認し、Enter キーを押します。

CGI 実行可能ディレクトリーを変更する場合は、ディレクトリーを絶対パスで入力し、Enter キーを押します。

CGI ディレクトリーを設定します。
インストール先は「(CGI ディレクトリー)/cbgrn」です。
例:/var/www/cgi-bin/cbgrn
[/var/www/cgi-bin]

12 Web サーバーのドキュメントルートディレクトリーを確認し、Enter キーを押します。

ドキュメントルートディレクトリーを変更する場合は、ディレクトリーを絶対パスで入力し、Enter キーを押します。

ドキュメントルートを指定してください。
インストール先は「(ドキュメントルート)/cbgrn」です。
例:/var/www/html/cbgrn
[/var/www/html]

13 Web サーバーの実行ユーザー名を確認し、Enter キーを押します。

Web サーバーの実行ユーザー名が異なる場合、正しい実行ユーザー名を入力し、Enter キーを押します。

Web サーバーの実行ユーザー名を設定します。
[apache]:

14 インストールするデータを選択し、Enter キーを押します。

ガルーンにインストールするデータを選択してください。何もインストールしない場合は「なし」を選択してください。

- 1: 標準とサンプルデータ
日本の祝日や申請フォームなどの標準データと、ユーザーやポータルなどのサンプルデータをインストールします。ガルーンをすぐに試用できます。
- 2: 標準
日本の祝日や申請フォームなどの標準的なデータをインストールします。サンプルデータはインストールされません。
- 3: なし

[1|2|3]:

15 表示された内容を確認し、正しければ「yes」を入力して Enter キーを押します。

インストールが始まります。

「no」を入力し、Enter キーを押すと、インストールが終了します。

Summary of install configuration

プログラムファイルのインストール先:	/usr/local/cybozu
データベース管理ユーザー:	cbroot
データベース管理ユーザーのパスワード:	cybozu
「Administrator」のパスワード:	cybozu
データベース接続ユーザーのパスワード:	cybozu
データのインストール:	[手順 14 で選択した結果]
インストール識別子:	cbgrn
Web サーバーの実行ユーザー:	apache
CGI プログラムのインストール先:	/var/www/cgi-bin/cbgrn
画像ファイルのインストール先:	/var/www/html/cbgrn
サイボウズ データベースエンジンとの通信に使用するポート番号:	3770

```

スケジューリングサービス起動スクリプト: /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn
製品の削除スクリプト: /var/www/cgi-bin/cbgrn/uninstall_cbgrn
サイボウズ データベースエンジン起動スクリプト: /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0
サイボウズ データベースエンジン削除スクリプト: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/uninstall_cyde_5_0

上記の設定でインストールします。よろしいですか？
[yes or no]: yes

```

16 インストールが正常に終了したことを確認します。

```

Installing Cybozu Database Engine...
Installing CGI...
installing DB Script...
Installing Cybozu Scheduling Service...
Installing Web files...
Copying license files...
Installing uninstall scripts...
DataBase Initialization...

インストールが正常に終了しました。
Web ブラウザーを起動し、次の URL にアクセスしてください。

http://(サーバーの FQDN、または IP アドレス)/(CGI ディレクトリーの仮想パス)/cbgrn/grn.cgi

例) http://webserver.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi
例) http://10.10.203.55/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi
[root@garoon admin]#

```

17 ガルーンの初期設定をします。

「2.4 ガルーンを使用するために必要な項目を設定する」-25 ページ

補足

- バージョン 3.5.0 以降のガルーンは、インストール時にガルーンを初期化するため、使用開始前に初期化する必要はありません。
使用開始後、サンプルデータと試用期間中に登録したデータなどを削除する場合にガルーンを初期化します。
「2.3.3 初期化する」 - 23 ページ
- ガルーンの URL にアクセスしても正常に画面が表示されない場合は、次の内容を確認してください。
 - Web サーバーのドキュメントルートディレクトリーに対して、Web サーバーの実行ユーザー（例: apache）に読み取り権限が付与されている。
 - Webサーバーに仮想ディレクトリーが正しく設定されている。
仮想ディレクトリーの作成方法は、弊社Webサイトを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webalias/>
 - SELinux が無効になっている。
- ガルーンとデータベースエンジンのインストールログは、次の場所に出力されます。
 - ガルーンのインストールログ: (インストーラーを実行したディレクトリー)/install.log
 - データベースエンジンのインストールログ: (インストーラーを実行したディレクトリー)/install_cyde.log

2.3.3 初期化する

サンプルデータや試用期間中に登録したデータなどを削除する場合にガルーンを初期化します。

ガルーンの Administrator のパスワードと、データベース接続ユーザーのパスワードを設定し、ガルーンを初期化します。

2章 インストールする

注意

- ガルーンの初期化中に初期化をキャンセルすると、ガルーンを使用できなくなる場合があります。ガルーンの初期化を途中でキャンセルした場合は、初期化する前のガルーンに戻して最初から操作をやり直してください。

1 コマンドラインを起動し、次のディレクトリーに移動します。

cd (CGI 実行可能ディレクトリー)/(インストール識別子)

例: cd /var/www/cgi-bin/cbgrn

2 次のコマンドを入力し、Enter キーを押します。

```
./grn_command -f code/command/grn_initialize.csp db_admin_password='cybozu' db_user_password='cybozu'
garoon_admin_password='cybozu' default_timezone='Asia/Tokyo' default_locale='ja' init_data='1'
```

• パラメーター

db_admin_password	データベース管理ユーザーのパスワードを入力します。
db_user_password	データベース接続ユーザーのパスワードを入力します。
garoon_admin_password	Administrator のパスワードを入力します。
default_timezon	タイムゾーンの情報を入力します。
default_locale	ロケールの情報です。利用する言語を、日本語、英語および中国語から選択します。
init_data	データをインストールするかどうかを指定します。 •2: 標準データとサンプルデータをインストールする •1: 標準データをインストールする •0: 何もインストールしない

3 「y」を入力し、Enter キーを押します。

「n」を入力し、Enter キーを押すと、初期化が中止されます。

```
Do you really initialize Garoon? (y/[n]) :
```

4 初期化が正常に終了したことを確認します。

```
Done in 1 minute 25 seconds.
```

grn_initialize.log を確認する

初期化が正常に終了したかどうかを grn_initialize.log で確認できます。

既定のディレクトリーにガルーンをインストールした場合、grn_initialize.log は次のディレクトリーに保存されています。

/var/www/cgi-bin/cbgrn

grn_initialize.log の例

```
2011-11-29 09:57:16 Writing to log file: /var/www/cgi-bin/cbgrn/grn_initialize.log
2011-11-29 09:57:16 Garoon: Version 3.5.0
2011-11-29 09:57:16 Operating System: Linux redhat6 2.6.32-71.el6.x86_64 #1 SMP Wed Sep 1 01:33:01 EDT 2010
x86_64
2011-11-29 09:57:16 Command Line Parameters: db_admin_password='cybozu' db_user_password='cybozu'
garoon_admin_password='cybozu' default_timezone='Asia/Tokyo' default_locale='ja'
2011-11-29 09:57:16 Starting
2011-11-29 09:58:41 Done in 1 minute 25 seconds.
```

a)

a): 初期化が終了すると、処理にかかった時間が表示されます。

2.4 ガルーンを使用するために必要な項目を設定する

ガルーンの初期化が終了したら、お客様情報やシステム管理者の情報を登録します。

2.4.1 お客様情報を登録する

ガルーンのシステム管理画面にアクセスし、お客様情報を登録します。

1 次のどちらかの URL にアクセスします。

Windows 環境: `http://(サーバーの IP アドレスまたはホスト名)/scripts/cbgrn/grn.exe/system/index`

Linux 環境: `http://(サーバーの IP アドレスまたはホスト名)/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/system/index`

2 Administrator のログイン名とパスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。

3 システム管理画面で、[基本システムの管理] > [お客様情報] > [お客様情報の確認]の順にクリックします。

4 「お客様情報の確認」画面で、[変更する]をクリックします。

5 「お客様情報の変更」画面で、必要な項目を設定し、[変更する]をクリックします。

設定する項目は、次のとおりです。

法人名: 法人名を入力します。

法人名(よみ): 法人名の読みを入力します。

ロゴ(URL): Web サーバー上の画像をロゴとして指定する場合に、URL を入力します。

ロゴ(ファイル): パソコンに保存されている画像をロゴとして指定する場合に、ファイルを指定します。

注意

- ロゴに使う画像をファイル形式で指定した場合、ユーザーがガルーンにアクセスするたびに、画像がサーバーから取り込まれます。その結果、サーバーに負荷が掛かり、パフォーマンスが低下するおそれがあります。ロゴの画像ファイルは、URL で指定することを推奨します。

2.4.2 システム管理者を指定する

ユーザーに Administrator ロールを付与し、システム管理者として指定します。

ユーザーを追加する

ガルーンを使用するユーザーを追加します。

1 システム管理画面で、[基本システムの管理] > [ユーザー] > [組織/ユーザーの設定]の順にクリックします。

2 「組織/ユーザーの設定」画面で、[ユーザーを追加する]をクリックします。

3 「ユーザーの追加」画面で、必要な項目を入力し、[追加する]をクリックします。

登録したユーザーは「(組織に未所属のユーザー)」に所属します。

ユーザー情報の入力項目

項目	説明
名前 *	ユーザーの名前を入力します。標準には、ドロップダウンリストから日本語、English、中文のいずれかの言語を選択し、ユーザーの名前を入力します。英語表記には、ユーザーの名前をアルファベットで入力します。
ログイン名 *	ユーザーのログイン名を入力します。ほかのユーザーとは異なるログイン名を入力します。
パスワード	ユーザーのパスワードを入力します。
パスワード(確認)	確認用にユーザーのパスワードを入力します。
ロケール	ロケールを選択します。「ロケールの設定」画面に、ロケールが登録されていない場合は、選択できません。
拠点	拠点を選択します。「拠点の設定」画面に拠点が登録されていない場合は、選択できません。
所属組織	ユーザーが所属する組織が表示されます。[所属する組織を変更する]をクリックすると、所属する組織を変更できます。
優先する組織	優先する組織を選択します。
表示優先度	ユーザーの一覧画面で表示されるユーザーの表示順を「0(ゼロ)」以上の整数で入力します。ユーザーは表示優先度の昇順で表示されます。表示優先度が重複するユーザーは、ガルーンに登録された順に表示されます。
使用の停止	アカウントを停止する場合、チェックを入れます。チェックを入れると、そのユーザーはガルーンにアクセスできません。
よみ	ユーザーの名前のよみを入力します。
E-mail	ユーザーの E-mail アドレスを入力します。
メモ	ユーザーに関するメモを入力します。
役職	ユーザーの役職を入力します。
連絡先	ユーザーの連絡先を入力します。
URL	ユーザーまたはユーザーに関連する Web サイトの URL を入力します。
画像	「ユーザー情報の詳細」画面に表示する画像ファイルを指定します。

*: は必須項目です。

ユーザーをシステム管理者に指定する

- 1 システム管理画面で、[基本システムの管理] > [ユーザー] > [ロールの設定]の順にクリックします。
- 2 「ロールの設定」画面で、[Administrators] > [ロールを所持させる]の順にクリックします。
- 3 「ロールの所持」画面のツリー表示で、ユーザーの所属する組織、または[(組織に未所属のユーザー)]を選択します。
- 4 システム管理者に指定するユーザーを選択し、[追加]をクリックします。
候補に追加したユーザーを解除する場合、下の欄で解除するユーザーを選択し、[削除]をクリックします。
- 5 [所持させる]をクリックします。

2.4.3 サイボウズ データベースエンジンの設定を変更する

サーバーマシンの搭載メモリー量が 4GB 以上の場合は、mysqld の設定を変更します。mysqld の設定を変更するには、サイボウズ データベースエンジンの設定ファイル(my.ini)を変更します。

サイボウズ データベースエンジンがインストールされているサーバーマシンの搭載メモリー量によって、my.ini ファイルの設定値が異なります。

my.ini の推奨値

メモリー		搭載メモリー量					
		4~8GB	8~12GB	12~16GB	16~24GB	24~48GB	48GB 以上
ガルーンの使用メモリー量		2GB	5.2GB	8.4GB	12GB	18GB	36GB
my.ini ファイル の設定値	sort_buffer_size	1M	1M	1M	1M	1M	1M
	join_buffer_size	3M	3M	3M	3M	3M	3M
	read_buffer_size	1M	1M	1M	1M	1M	1M
	read_rnd_buffer_size	2M	2M	2M	2M	2M	2M
	thread_cache_size	50	50	50	50	50	50
	max_connections	50	50	50	50	50	50
	innodb_buffer_pool_size	1500M	4500M	7800M	11500M	17600M	36100M

注意

- OS やほかのシステムが使用するメモリー量を考慮し、サーバーマシンで使用するメモリー量の合計が、サーバーマシンの搭載メモリー量以下になるように、my.ini ファイルを変更します。
- 上記の「my.ini の推奨値」は 64bit OS の推奨値です。
32bit の Linux で 4GB 以上を認識させることはできませんが、その場合、32bit OS として扱い、上記の推奨値は適用しないでください。
32ビット OS の問題により、MySQL(1 プロセス)の使用メモリーが 2GB を超えると、サーバーがクラッシュする可能性があります。

補足

- my.ini ファイルの設定の詳細は、オフィシャルパートナーまたは販売元にお問い合わせください。
<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>
- サーバーマシンの搭載メモリー量が 4GB 未満の場合は、mysqld は自動的に設定されます。

my.ini ファイルを変更する

my.ini ファイルを設定する手順を、Windows と Linux に分けて説明します。

Windows 環境

- Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択します。
- 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。
「cbgrn」の値は、インストール識別子によって異なります。
- 「Cybozu_Database_Engine_5_0」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。
- my.ini ファイルをバックアップします。
既定のディレクトリーにインストールした場合は、my.ini のファイルの場所は次のとおりです。
C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\etc\my.ini
- my.ini ファイルの値を変更します。
「my.ini の推奨値」 - 27 ページ
- 「Cybozu_Database_Engine_5_0」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。
- 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。

Linux 環境

1 スケジューリングサービスを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn stop
```

2 サイボウズ データベースエンジンを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 stop
```

3 my.ini ファイルをバックアップします。

既定のディレクトリーにインストールした場合は、my.ini のファイルの場所は次のとおりです。
/usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

4 my.ini ファイルの値を変更します。

「my.ini の推奨値」-27 ページ

5 サイボウズ データベースエンジンを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 start
```

6 スケジューリングサービスを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn start
```

注意

- ガルーンをバージョンアップすると、my.ini ファイルは新しく作成され、元のファイルは my.ini.old にリネームされてバックアップされます。新しいファイルには元の設定が引き継がれないため、バージョンアップ前にファイルの値を変更している場合は、再設定が必要です。

3章 バージョンアップする

バージョンアップには、ガルーンのインストーラーを使用します。最新版のプログラムとマニュアルは、弊社の Web サイトからダウンロードできます。サーバーの OS にあわせてダウンロードしてください。次の弊社 Web サイトは、日本語で記載されています。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/>

ガルーンを、バージョン 2.1.3 以前から 3.5.0 にバージョンアップする場合は、専用のプログラムを使用します。弊社の Web サイトから、最新版のプログラムとマニュアルをダウンロードできます。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/versionup/>

バージョンアップ後に必要な作業は、バージョンアップ前のバージョンによって異なります。

重要

- ガルーンを運用している環境によって、バージョンアップに必要な条件が異なります。ガルーンをバージョンアップする前に、チェックリストを確認してください。
『ガルーン 3.5.0 バージョンアップ チェックリスト』(PDF ファイル)は、次の URL を参照してください。
http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/pdf/Gr350_VerUp_checklist_HP.pdf

注意

- バージョンアップする前に、運用中のガルーンの詳細データを必ずバックアップしてください。バックアップについては、『管理者マニュアル』の「ガルーン 3 の保守」(バージョン 3.5 以降は「ガルーンの保守」)を参照してください。
- バージョンアップの処理中は、バージョンアップを中止しないでください。
- バージョンアップすると、PHP ポートレットは非公開に設定されます。
「3.3.6 PHP ポートレットを確認する」-48 ページ
- バージョンアップすると、my.ini ファイルが初期設定で設定されているファイルに置き換わります。バージョンアップ前に my.ini ファイルを変更していた場合は、バージョンアップ後に再度変更する必要があります。
- バージョンアップ後、my.ini のテーブルキャッシュサイズを変更する必要があります。
「3.3.2 テーブルキャッシュサイズを変更する」-44 ページ
- サーバマシンに Zaseki7 for ガルーン 2 がインストールされている場合は、ガルーンをバージョンアップする前に、Zaseki7 for ガルーン 2 をアンインストールする必要があります。
詳細は次の FAQ を参照してください。
<http://faq.cybozu.info/alphascope/cybozu/web/garoon3/Detail.aspx?id=998>

補足

- 作業に不安がある場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

バージョンアップ時に必要なディスクの空き容量

ガルーンをバージョンアップするには、CGI 実行可能ディレクトリーに MySQL の data ディレクトリーのデータサイズ以上の空き容量が必要です。

ガルーンはバージョンアップ中に、CGI 実行可能ディレクトリー内のディレクトリーに MySQL のデータを一時的にバックアップ(dump)します。ディスクの空き容量が不足すると、バージョンアップは中止されます。バージョンアップの前に、data ディレクトリーとサーバマシンの空き容量を確認してください。

既定のディレクトリーとインストール識別子を使用してガルーンをインストールした場合のそれぞれのディレクトリー

3 章 バージョンアップする

の位置は、次のとおりです。

- Windows 環境
 - バックアップされたデータの保存先: C:\inetpub\scripts\cbgrn\tmp
 - MySQL の data ディレクトリー: C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\data
- Linux 環境
 - バックアップされたデータの保存先: /var/www/cgi-bin/cbgrn/tmp
 - MySQL の data ディレクトリー: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data

補足

- 一時的にバックアップされたデータは、バージョンアップ終了時に削除されます。
- 空き容量を確保するためにディスクを追加した場合は、新しい環境にバージョンアップ前のガルーンのデータ (MySQL のデータおよび添付ファイル) をリストアしてから、ガルーンをバージョンアップしてください。

バージョンと CGI のメモリー消費量

バージョン 3.5.0 より前のガルーンを 3.5.0 以降のバージョンにバージョンアップすると、CGI のプロセスあたりのメモリー消費量が増加します。

バージョンごとの、CGI のプロセスあたりのメモリー消費量は、次のとおりです。

バージョン	CGI のメモリー消費量
2.0.0 から 3.5.0 まで	約 40MB
3.5.0 以降	約 55MB

ガルーンの利用状況や環境によって、Web サーバーに搭載する必要があるメモリーの量が変わります。

メモリーの追加の必要性については、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

3.1 Windows 環境でバージョンアップする

次の環境が使用されている場合を例に、Windows 環境でバージョンアップする手順を説明します。

- Web サーバー: IIS 7.0
- Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリー: C:\inetpub\scripts
- Web サーバーのドキュメントルートディレクトリー: C:\inetpub\wwwroot
- 既定のインストール識別子: cbgrn

注意

- 作業の前に、バージョンアップの注意事項を確認してください。
「3 章 バージョンアップする」-29 ページ

3.1.1 バージョンアップの準備をする

ガルーンをバージョンアップするには、次の準備が必要です。

データベース管理ユーザーのパスワードを用意する

インストール時に設定したデータベース管理ユーザーのパスワードが必要です。

「2.1 インストールの準備をする」 - 9 ページ

my.ini ファイルをバックアップする

my.ini ファイルの初期値を変更している場合は、ガルーンをインストールしているディレクトリー以外のディレクトリーに my.ini ファイルをコピーします。

IIS の設定を変更する

バージョン 3.1.0 より前のガルーンからバージョンアップする場合は、IIS の設定を変更します。詳細は次のページを参照してください。

「Windows Server 2008 環境で、IIS7 を利用する場合」-16 ページ

「Windows Server 2003 環境で、IIS6 を利用する場合」-17 ページ

全文検索サーバーを停止する

全文検索を使用している場合は、全文検索サーバーを運用しているサーバーマシンで次のサービスを停止します。

Windows 環境

- CybozuSearchServercbsearch
- Cybozu_Database_Engine_5_0

Linux 環境

- cbss_cbsearch
- cyde_5_0

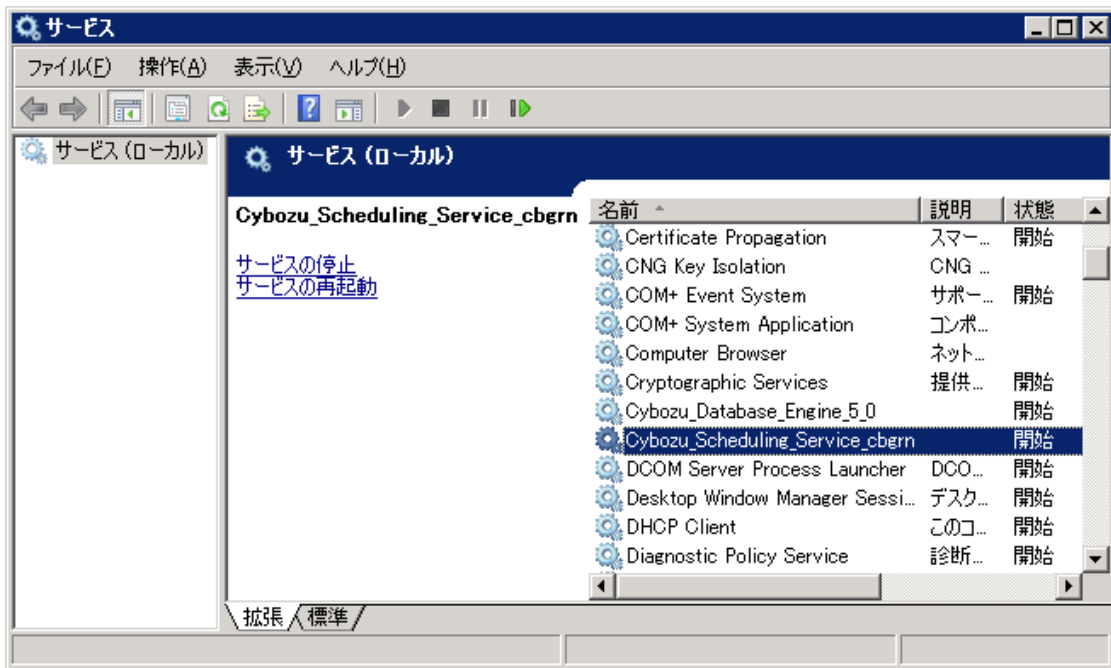
全文検索サーバーのサービスの停止方法は次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 3 全文検索サーバーマニュアル』

3.1.2 バージョンアップする

Windows 環境で、バージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップする手順を説明します。

- 1 ガルーンがインストールされているサーバーマシンに、インストール先のサーバーの Administrator 権限を持つユーザーでログインします。
運用中のガルーンのデータをバックアップします。
バックアップについては『管理者マニュアル』の「ガルーン 3 の保守」を参照してください。
- 2 サーバーマシンの Web サーバーを停止します。
- 3 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択します。
- 4 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。

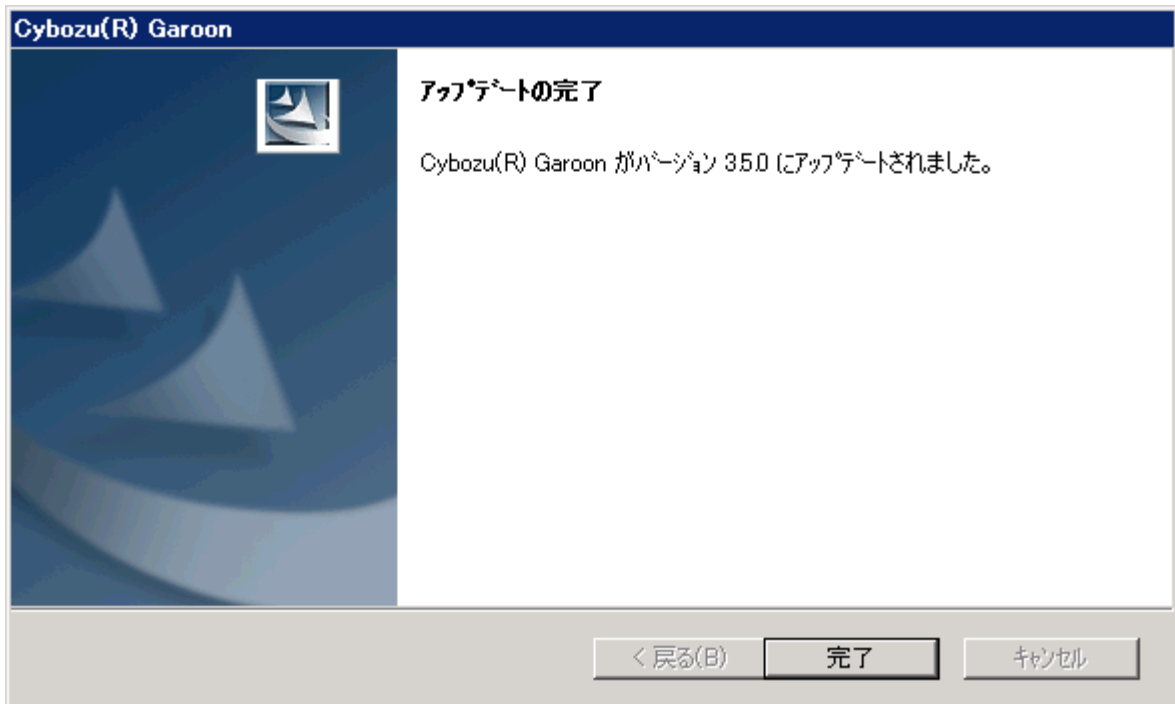


- 5 Cybozu_Database_Engine_5_0 の状態が「開始」になっていることを確認し、サービスのウィンドウを閉じます。

Cybozu_Database_Engine_5_0 が停止している場合は、[サービスの開始]をクリックして、サービスのウィンドウを閉じます。ウィンドウを開いたままバージョンアップを進めると、バージョンアップに失敗するおそれがあります。

- 6 バージョン 3.5.0 のガルーンのインストーラーを起動します。
- 7 「検出された製品の確認」画面で「下で選択した製品をアップデートする」を選択します。
- 8 バージョンアップする製品を選択し、[次へ]をクリックします。
- 9 データベース管理ユーザーのパスワード入力し、[次へ]をクリックします。

10 「アップデートの完了」画面で、[完了]をクリックします。



11 IIS 設定についての注意画面で、[OK]をクリックします。

12 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択します。

13 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。
スケジューリングサービスの状態が「開始」であることを確認します。

14 サーバマシンの Web サーバーを起動します。

補足

- バージョンアップ中に次のメッセージが表示された場合、バージョンアップの必要はありません。[いいえ(N)]をクリックし、バージョンアップを中止します。
「Cybozu(R) Garoon のバージョン 3.5.0 がすでにインストールされています。」
- バージョンアップを実行すると、ログは次の場所に出力されます。
 - ガルーンおよびデータベースエンジンのインストールログ
64bit OS: C:\%WINDOWS%\SysWow64\cb_installer.log
32bit OS: C:\%WINDOWS%\System32\cb_installer.log
 - バージョンアップログ: C:\%inetpub%\scripts\cbgrn\versionup_###.log¹
1: ###は 3 桁の数字を表します。
 - 設定ファイルの更新ログ: C:\%inetpub%\scripts\cbgrn\renew_ini.log
 - データベースのリストアのログ: C:\%inetpub%\scripts\cbgrn\restore_db.log
バージョン 2.5.x からバージョン 3.5.0 にガルーンをバージョンアップした場合は、上記のログが出力されます。
 - MySQL のエラー: C:\%ProgramFiles%\Cybozu\mysql-5.0\data\error.log

3.1.3 32bit 版から 64bit 版のガルーンにバージョンアップする

バージョン 2.5.0 以降のガルーンを 64bit 版のバージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップする方法として、次の 2 つのバージョンアップ方法があります。

32 ビット OS でバージョン 3.5.0 にバージョンアップする

32ビット OS の環境でバージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップした後、64ビット OS の環境にインストールしたガルーンにデータを移行します。

- 1 32ビット OS の環境で、バージョン 2.5.0 以降のガルーンをバージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップします。
「3.1.1 バージョンアップの準備をする」 - 30 ページ
「3.1.2 バージョンアップする」 - 31 ページ
- 2 64ビット OS の環境に、バージョン 3.5.0 のガルーンをインストールします。
「2.2 Windows 環境にインストールする」 - 10 ページ
- 3 手順 1 でバージョンアップしたガルーン的数据をバックアップし、手順 2 でインストールしたガルーンにリストアします。
データのバックアップ、リストア、およびサーバーの移行手順については、次のマニュアルを参照してください。
『サイボウズ ガルーン 管理者マニュアル』「32ビット OS から 64ビット OS にガルーンを移行する」

64 ビット OS でバージョン 3.5.0 にバージョンアップする

32ビット OS の環境にインストールしたガルーン的数据を 64ビット OS の環境に移行した後、バージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップします。

- 1 64ビット OS 環境で、32bit 版のガルーンのインストーラーを使用してガルーンをインストールします。
64ビット OS 環境には、バージョンアップ前のガルーンと同じバージョンのガルーンをインストールする必要があります。インストールの手順は、それぞれのバージョンに合わせたマニュアルを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/garoon3/#01>
バージョンアップ前のガルーンに Service Pack が適用されている場合は、64ビット OS 環境にインストールしたガルーンに、同じ Service Pack を適用する必要があります。
- 2 32ビット OS 環境で、バージョンアップ前のガルーン的数据をバックアップし、手順 1 でインストールしたガルーンにリストアします。
データのバックアップ、リストア、およびサーバーの移行手順については、それぞれのバージョンに合わせたマニュアルを参照してください。
『サイボウズ ガルーン 2 管理者マニュアル』「ガルーン 2」の保守」
または
『サイボウズ ガルーン 3 管理者マニュアル』「ガルーン 3」の保守」
- 3 移行先の 64ビット OS 環境で、64bit 版のガルーンのインストーラーを使用して、ガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップします。
「3.1.1 バージョンアップの準備をする」 - 30 ページ
「3.1.2 バージョンアップする」 - 31 ページ

3.1.4 バージョンアップが中止された場合の対処方法

インストーラーの実行中に処理が中止された場合の対処方法

ガルーンのインストーラーを使用してバージョンアップを実行すると、処理中に次のメッセージが表示される場合があります。

サイボウズ データベースエンジンのアップデートを中止しました。
 アップデートを再開するために、OS を再起動してから、次のプログラムを実行してください。
 ・(ガルーンのインストーラーを配置したディレクトリー)¥repair.bat

このメッセージは、データベースエンジンを正しく更新できない、古いディレクトリーを削除できないなどの問題が発生した場合に表示されます。

次の手順でガルーンのバージョンアップを継続します。

- 1 サーバマシンの OS を再起動します。
- 2 再起動したサーバマシンで、Windows の Administrator ユーザーでログインします。
- 3 Web サーバーを停止します。
- 4 Windows のエクスプローラーを起動します。
バージョン 3.5.0 のガルーンのインストーラーを配置したディレクトリー(フォルダー)に、次のファイルが保存されていることを確認します。
repair.bat
- 5 repair.bat をダブルクリックします。
- 6 「検出された製品の確認」画面で、「下で選択した製品をアップデートする」を選択し、[次へ]をクリックします。
バージョン 3.5.0 のガルーンのバージョンアップが再開します。
- 7 「アップデートの完了」画面で、[完了]をクリックします。
- 8 手順 3 で停止した Web サーバーを起動します。
- 9 バージョンアップ後に必要な作業を行います。
「3.3 バージョンアップ後に必要な作業」 - 43 ページ

補足

- バージョンアップが終了すると、repair.bat は自動的に削除されます。

repair.bat の実行中に処理が中止された場合の対処方法

repair.bat を実行すると、処理中に次のメッセージが表示される場合があります。

サイボウズ データベースエンジンのアップデートに失敗しました。
 次のファイルに出力されたログを確認し、問題を解決してから、もう一度このプログラムを実行してください。
 ・(ディレクトリーパス)(インストールログのファイル名)

このメッセージは、repair.bat がガルーンのバージョンアップ中に発生したエラーの原因を解決できなかった場合に表示されます。インストールログを確認し、エラーの原因となった問題を解決してから、再度 repair.bat を実行します。

「ログの見かた」 - 36 ページ

「インストーラーの実行中に処理が中止された場合の対処方法」 - 35 ページ

補足

- エラーの原因が不明、または原因となった問題を解決できない場合は、オフィシャルパートナーまたは販売元にお問い合わせください。
<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

ログの見かた

初期設定でガルーンをインストールした場合のインストールログの保存先は、次のとおりです。

- 64bit OS: C:\WINDOWS\SysWow64\cb_installer.log
- 32bit OS: C:\WINDOWS\System32\cb_installer.log

ガルーンのインストーラーの実行中にエラーが発生した場合の例

```
8-13-2012 14:17:45 [Garoon 3.5.0b] [INFO] ■■■ START framework Library ■■■
8-13-2012 14:17:45 [Garoon 3.5.0b] [INFO] cb_isAvailableOS() in
8-13-2012 14:17:45 [Garoon 3.5.0b] [INFO] cb_isAvailableOS() out
(省略)
8-13-2012 14:22:59 [Garoon 3.5.0b] [ERROR] failed to delete directory: C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0 a)
8-13-2012 14:22:59 [Garoon 3.5.0b] [INFO] deleteDirectory() out
8-13-2012 14:22:59 [Garoon 3.5.0b] [INFO] isReadyForUpgrade() in
8-13-2012 14:22:59 [Garoon 3.5.0b] [INFO] target cyde
8-13-2012 14:22:59 [Garoon 3.5.0b] [INFO] service name: Cybozu_Database_Engine_5_0
8-13-2012 14:22:59 [Garoon 3.5.0b] [INFO] path : C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0
8-13-2012 14:22:59 [Garoon 3.5.0b] [ERROR] cyde directory is found b)
8-13-2012 14:22:59 [Garoon 3.5.0b] [INFO] isReadyForUpgrade() out
8-13-2012 14:22:59 [Garoon 3.5.0b] [INFO] createRepairBatchFile() in
8-13-2012 14:22:59 [Garoon 3.5.0b] [INFO] getRepairBatchFilePath() in
8-13-2012 14:22:59 [Garoon 3.5.0b] [INFO] getRepairBatchFilePath() out
8-13-2012 14:22:59 [Garoon 3.5.0b] [INFO] create a repair batch file:
C:\Users\Administrator\Desktop\test\repair.bat
8-13-2012 14:23:10 [Garoon 3.5.0b] [INFO] createRepairBatchFile() Out
8-13-2012 14:23:10 [Garoon 3.5.0b] [INFO] OnAbort() in
8-13-2012 14:23:10 [Garoon 3.5.0b] [INFO] OnAbort() out
8-13-2012 14:23:32 [Garoon 3.5.0b] [ERROR] Installation of database engine isn't completed normally,
processing is uncontinuable.
```

- a): 古いデータベースエンジンがインストールされているディレクトリーを、正常に削除できなかったことを表します。
- b): ガルーンのバージョンアップ中にエラーが発生し、データベースエンジンのインストールを中止したことを表します。

repair.bat の実行中にエラーが発生した場合の例

```
8-13-2012 15:25:20 [Garoon 3.5.0b] [INFO] ■■■ START framework Library ■■■
8-13-2012 15:25:20 [Garoon 3.5.0b] [INFO] cb_isAvailableOS() in
8-13-2012 15:25:20 [Garoon 3.5.0b] [INFO] cb_isAvailableOS() out
(省略)
8-13-2012 15:25:26 [Garoon 3.5.0b] [ERROR] failed to delete directory: C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0 a)
8-13-2012 15:25:26 [Garoon 3.5.0b] [INFO] deleteDirectory() out
8-13-2012 15:25:26 [Garoon 3.5.0b] [INFO] isReadyForUpgrade() in
8-13-2012 15:25:26 [Garoon 3.5.0b] [INFO] target cyde
8-13-2012 15:25:26 [Garoon 3.5.0b] [INFO] service name: Cybozu_Database_Engine_5_0
```

```
8-13-2012 15:25:26 [Garoon 3.5.0b] [INFO] path : C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0
8-13-2012 15:25:26 [Garoon 3.5.0b] [ERROR] cycle directory is found a)
8-13-2012 15:25:26 [Garoon 3.5.0b] [INFO] isReadyForUpgrade() out
8-13-2012 15:25:38 [Garoon 3.5.0b] [ERROR] error in REPAIR50 mode b)
8-13-2012 15:25:38 [Garoon 3.5.0b] [INFO] OnAbort() in
8-13-2012 15:25:38 [Garoon 3.5.0b] [INFO] OnAbort() out
8-13-2012 15:26:00 [ERROR] Installation of database engine isn't completed normally, processing is
uncontinuable.
```

- a): 古いデータベースエンジンがインストールされているディレクトリーを、正常に削除できなかったことを表します。
- b): repair.bat の実行中にエラーが発生し、データベースエンジンのインストールを中止したことを表します。

3.2 Linux 環境でバージョンアップする

バージョンアップには、ガルーンのインストーラーを使用します。弊社の Web サイトから、最新版のプログラムとマニュアルをダウンロードできます。サーバーの OS にあわせてダウンロードしてください。次の弊社 Web サイトは、日本語で記載されています。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/>

ガルーンを、バージョン 2.1.3 以前から 3.5.0 にバージョンアップする場合は、専用のプログラムを使用します。弊社の Web サイトから、最新版のプログラムとマニュアルをダウンロードできます。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/versionup/>

次の環境が使用されている場合を例に、Linux 環境でバージョンアップする手順を説明します。

- Web サーバー: Apache
- Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリー: /var/www/cgi-bin
- Web サーバーのドキュメントルートディレクトリー: /var/www/html
- 既定のインストール識別子: cbgrn

バージョンアップ後に必要な作業は、元のバージョンによって異なります。

注意

- 作業の前に、バージョンアップの注意事項を確認してください。
「3章 バージョンアップする」-29 ページ
- Web サーバーの実行ユーザーが実行および書き込み可能なディレクトリーに、インストーラーを配置します。配置するディレクトリーまでのすべてのディレクトリーに、実行権限および書き込み権限が必要です。

補足

- 作業に不安がある場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

3.2.1 バージョンアップの準備をする

ガルーンをバージョンアップするには、次の準備が必要です。

データベース管理ユーザーのパスワードを用意する

インストール時に設定したデータベース管理ユーザーのパスワードが必要です。

「2.1 インストールの準備をする」-9 ページ

my.ini ファイルのバックアップを作成する

my.ini ファイルの初期値を変更している場合は、ガルーンをインストールするディレクトリー以外のディレクトリーに my.ini ファイルをコピーします。

ライブラリーを確認する

使用している環境に、ガルーンを運用するために必要なライブラリーがインストールされていることを確認します。

ガルーンが使用するライブラリーについて、詳細は弊社 Web サイトを参照してください。

http://manual.cybozu.co.jp/tech/linux_library.html

全文検索サーバーを停止する

全文検索を使用している場合は、全文検索サーバーを運用しているサーバーマシンで次のサービスを停止します。

Windows 環境

- CybozuSearchServercbsearch
- Cybozu_Database_Engine_5_0

Linux 環境

- cbss_cbsearch
- cyde_5_0

全文検索サーバーのサービスの停止方法は、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 3 全文検索サーバーマニュアル』

3.2.2 バージョンアップする

Linux 環境で、バージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップする手順を説明します。

1 サーバーマシンに、root ユーザーでログインします。

2 サーバーマシンの Web サーバーを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/httpd stop
```

3 スケジューリングサービスを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn stop
```

4 サイボウズ データベースエンジンが起動していることを確認します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 status
```

サイボウズ データベースエンジンが起動していると、実行中のプロセス番号が表示されます。

プロセス番号の表示例:

```
mysql(9363) is running...
```

サイボウズ データベースエンジンが停止している場合は起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 start
```

5 インストーラーが存在するディレクトリーに移動します。

6 インストーラーを実行します。

- 64bit のインストーラーを使用した場合

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.5.0b-linux-x64.bin
```

- 32bit のインストーラーを使用した場合

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.5.0b-linux.bin
```

7 表示された内容に従って、Y キーまたは N キーを押し、Enter キーを押します。

```
上記のメッセージが正しく表示されている場合は Y を入力します。
```

```
If the above message is displayed correctly, type 'Y', otherwise type 'N'.
```

8 試用許諾契約に同意する場合は yes と入力し、Enter キーを押します。

画面をスクロールする場合は、Space または Enter キーを押します。

3章 バージョンアップする

試用許諾契約に同意しない場合は no を入力し、Enter キーを押します。バージョンアップを終了します。

- 9 バージョンアップするガルーンのインストール識別子を確認します。
- 10 インストール識別子を入力し、Enter キーを押します。
- 11 「1」を入力し、Enter キーを押します。
- 12 プログラムファイルのインストール先を確認し、データベース管理ユーザーのパスワードを入力し、Enter キーを押します。
- 13 表示された内容を確認し、正しければ yes と入力して、Enter キーを押します。
インストールが始まります。
no を入力して、Enter キーを押すと、インストールが終了します。

```
Summary of install configuration

プログラムファイルのインストール先:           /usr/local/cybozu
データベース管理ユーザー:                   cbroot
データベース管理ユーザーのパスワード:       cybozu
インストール識別子:                           cbgrn
Web サーバーの実行ユーザー:                 apache
CGI プログラムのインストール先:             /var/www/cgi-bin/cbgrn
画像ファイルのインストール先:               /var/www/html/cbgrn
サイボウズ データベースエンジンとの通信に使用するポート番号: 3770
スケジューリングサービス起動スクリプト:    /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn
製品の削除スクリプト:                       /var/www/cgi-bin/cbgrn/uninstall_cbgrn
サイボウズ データベースエンジン起動スクリプト: /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0
サイボウズ データベースエンジン削除スクリプト: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/uninstall_cyde_5_0
上記の設定でインストールします。よろしいですか？
[yes or no]: yes
```

- 14 バージョンアップが正常に終了したことを確認します。

```
Installing Cybozu Database Engine...
installing DB Script...
Restore MySQL Table
MySQL Restore is success!
Installing Cybozu Scheduling Service...
Installing Web files...
Copying license files...
Installing uninstall scripts...

インストールが正常に終了しました。
Web ブラウザーを起動し、次の URL にアクセスしてください。

http://(サーバーの FQDN、または IP アドレス)/(CGI ディレクトリーの仮想パス)/cbgrn/grn.cgi

例) http://webserver.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi
例) http://10.10.203.55/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi
[root@garoon admin]#
```

- 15 スケジューリングサービスを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn start
```


16 スケジューリングサービスが起動したことを確認します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cysss_cbgrn status
```

スケジューリングサービスが起動していると、実行中のプロセス番号が表示されます。

プロセス番号の表示例:

```
sched(31622) is running...
```

17 サーバマシンの Web サーバーを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/httpd start
```

18 サーバマシンの Web サーバーが起動したことを確認します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/httpd status
```

Web サーバーが起動していると、実行中のプロセス番号が表示されます。

プロセス番号の表示例:

```
httpd (pid 21583 21576 21575 21573 21572 21571 21570 21569 21568) を実行中...
```

補足

- バージョンアップを実行すると、ログが出力されます。ログの出力先は次のとおりです。
- ガルーンのインストール結果: /(<インストーラーを実行したディレクトリー)/install.log
- データベースエンジンのインストール結果: /(<インストーラーを実行したディレクトリー)/install_cyde.log

3.2.3 32bit 版から 64bit 版のガルーンにバージョンアップする

バージョン 2.5.0 以降のガルーンを 64bit 版のバージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップする方法として、次の 2 つのバージョンアップ方法があります。

32 ビット OS でバージョン 3.5.0 にバージョンアップする

32 ビット OS の環境でバージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップした後、64 ビット OS の環境にインストールしたガルーンにデータを移行します。

1 32ビットOS環境で、バージョン 2.5.0 以降のガルーンをバージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップします。

「3.2.1 バージョンアップの準備をする」 - 38 ページ

「3.2.2 バージョンアップする」 - 39 ページ

2 64ビットOS環境に、バージョン 3.5.0 のガルーンをインストールします。

「2.3 Linux 環境にインストールする」 - 20 ページ

3 手順 1 でバージョンアップしたガルーンのデータをバックアップし、手順 2 でインストールしたガルーンにリストアします。

データのバックアップ、リストア、およびサーバーの移行手順については、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 管理者マニュアル』「32 ビット OS から 64 ビット OS にガルーンを移行する」

64 ビット OS でバージョン 3.5.0 にバージョンアップする

32 ビット OS の環境にインストールしたガルーンのデータを 64 ビット OS の環境に移行した後、バージョン 3.5.0 の

3章 バージョンアップする

ガルーンにバージョンアップします。

- 1 **64ビット OS 環境で、32bit 版のガルーンのインストーラーを使用してガルーンをインストールします。**
64ビット OS 環境には、バージョンアップ前のガルーンと同じバージョンのガルーンをインストールする必要があります。インストールの手順は、それぞれのバージョンに合わせたマニュアルを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/garoon3/#01>
バージョンアップ前のガルーンに Service Pack が適用されている場合は、64ビット OS 環境にインストールしたガルーンに、同じ Service Pack を適用する必要があります。
- 2 **32ビット OS 環境で、バージョンアップ前のガルーン的数据をバックアップし、手順1でインストールしたガルーンにリストアします。**
データのバックアップ、リストア、およびサーバーの移行手順については、それぞれのバージョンに合わせたマニュアルを参照してください。
『サイボウズ ガルーン 2 管理者マニュアル』「ガルーン 2」の保守」
または
『サイボウズ ガルーン 3 管理者マニュアル』「ガルーン 3」の保守」
- 3 **移行先の 64ビット OS 環境で、64bit 版のガルーンのインストーラーを使用して、ガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップします。**
「3.2.1 バージョンアップの準備をする」 - 38 ページ
「3.2.2 バージョンアップする」 - 39 ページ

3.3 バージョンアップ後に必要な作業

バージョンアップ前の製品のバージョンによって、製品を使用する前に必要な設定が違います。次の各項目で説明します。

注意

- ガルーンをバージョンアップすると、my.ini ファイルは新しく作成され、元のファイルは my.ini.old にリネームされてバックアップされます。
新しいファイルには元の設定が引き継がれないため、バージョンアップ前にファイルの値を変更している場合は、再設定が必要です。
- バージョンアップしたあとに、データベースサーバー設定ファイル(my.ini)の値を変更することを推奨します。
my.ini ファイルに適切な値を設定すると、データベースサーバーのパフォーマンスが向上することがあります。
「2.4.3 サイボウズ データベースエンジンの設定を変更する」 - 26 ページ

3.3.1 ログを確認する

ファイルの更新が正常に終了したかどうかを確認するために、ログファイルで確認します。

ログファイルには、次の結果が出力されます。

- MySQL の更新結果
- ガルーンで使用するデータの更新結果
- 更新プログラムの実行結果

既定のディレクトリーにガルーンをインストールしている場合は、次のファイルにログが出力されます。

は 3 桁の数字を表します。

Windows 環境の場合

- 更新プログラムの実行結果: C:\inetpub\scripts\cbgrn\versionup_###.log
- MySQL のエラー: C:\ProgramFiles\Cybozu\mysql-5.0\data\error.log

Linux 環境の場合

- ガルーンのインストール結果: /(インストーラーを実行したディレクトリー)/install.log
- データベースエンジンのインストール結果: /(インストーラーを実行したディレクトリー)/install_cyde.log
- 更新プログラムの実行結果: /var/www/cgi-bin/cbgrn/versionup_###.log
- MySQL のエラー: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data/error.log

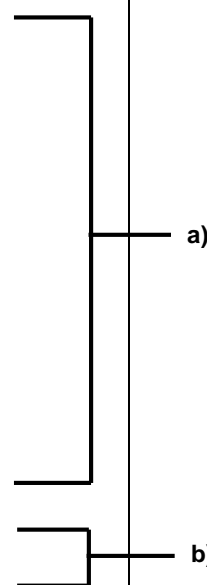
versionup_###.log の見かた

Windows 環境で出力される versionup_###.log の例として説明します。

```
[Wed, 30 Nov 2011 09:23:42 +0900] DB root password corrected!
[Wed, 30 Nov 2011 09:23:45 +0900] 20111130 09:23:43 [INFO] Started updating.

20111130 09:23:45 [INFO] Started grn3.5.0_local_main.
20111130 09:23:45 [INFO] Updated the version number of system attribute. 3.5.0
20111130 09:23:45 [INFO] Update profile attribute start
20111130 09:23:45 [INFO] Update profile attribute finish
20111130 09:23:45 [INFO] Finished grn3.5.0_local_main.
20111130 09:23:45 [INFO] Started grn350_remote_main.
20111130 09:23:45 [INFO] Finished grn350_remote_main.
20111130 09:23:45 [INFO] Finished updating.

[Wed, 30 Nov 2011 09:23:48 +0900] 20111130 09:23:47 [INFO] Started updating
after installation.
20111130 09:23:47 [INFO] Remove all files of smarty cache directory.
20111130 09:23:47 [INFO] Remove all the session data.
20111130 09:23:47 [INFO] Finished updating after installation.
(省略)
[Wed, 30 Nov 2011 09:24:04 +0900] start removing versionup scripts
[Wed, 30 Nov 2011 09:24:04 +0900] end removing versionup scripts
```



- a) :ガルーンで使用するデータの更新結果
- b) :更新プログラムの実行結果

注意

- 「INFO」が「OK」以外のステータスが出力された場合は、メッセージの内容に従って対応します。

補足

- エラーの原因が不明な場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

3.3.2 テーブルキャッシュサイズを変更する

2.5.4 以前のバージョンからバージョンアップした場合は、テーブルキャッシュサイズを変更します。

Windows 環境

- 1 サーバマシンに、インストール先のサーバの Administrator 権限を持つユーザーでログインします。
- 2 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択します。
- 3 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。
- 4 「Cybozu_Database_Engine_5_0」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。
- 5 my.ini ファイルを開きます。
既定のディレクトリーにインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリーにあります。
C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\etc\my.ini
- 6 table_cache の値を、次のように変更します。
table_cache = max_connections * 2
max_connections = 50

```
table_cache = 1300
```

- 7 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択します。
- 8 「Cybozu_Database_Engine_5_0」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。
- 9 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。

Linux 環境

- 1 サーバマシンに、root ユーザーでログインします。

- 2 スケジューリングサービスを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn stop
```

- 3 サイボуз データベースエンジンを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 stop
```

- 4 my.ini ファイルを開きます。

既定のディレクトリーにインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリーにあります。

例: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

- 5 table_cache の値を、次のように変更します。

```
## table_cache = max_connections * 2
```

```
max_connections = 50
```

```
table_cache = 1300
```

- 6 サイボуз データベースエンジンを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 start
```

- 7 スケジューリングサービスを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn start
```

3.3.3 認証パスワードを再設定する

サイボуз共通認証の認証パスワードを再設定する方法を説明します。次のすべての条件を満たす場合は、認証パスワードを再設定する必要があります。

- ガルーンを、バージョン 2.5.2 以前からバージョン 3.5.0 にバージョンアップした
- バージョンアップ前にサイボуз共通認証を使用していた
- バージョンアップ後にオープン統合認証 ver.2 または、サイボуз共通認証を使用します。

- 1 システム管理画面で、[基本システムの管理] > [認証] > [セッション認証]の順にクリックします。

- 2 セッション認証画面で、セッション認証名をクリックします。

認証形式にサイボуз共通認証を設定しているセッション認証を選択します。

- 3 「セッション認証の詳細」画面で、[変更する]をクリックします。

- 4 認証パスワードを入力し、[変更する]をクリックします。

バージョンアップ前に設定していたパスワードと、同じパスワードを使用できます。

3.3.4 ライセンスを登録する

バージョン 2.5.4 以前から 3.5.0 のガルーンにバージョンアップした場合は、バージョンアップ後にガルーンの新規ユーザーライセンスを登録します。ライセンスを登録するまでは試用期間として扱われます。バージョンアップしてから 60 日以内にライセンスが登録されなかった場合は、ガルーンを使用できなくなります。

- 1 システム管理画面で、[基本システムの管理] > [ライセンス] > [ライセンスの管理]の順にクリックします。
- 2 「ライセンスの管理」画面で、[ライセンスを登録する]をクリックします。
- 3 「ライセンスの登録」画面で、お客様番号とライセンスキーを入力し、[登録する]をクリックします。
- 4 ライセンス内容を確認し、[登録する]をクリックします。

3.3.5 権限削除プログラムを実行する

バージョン 2.5.4 以前からバージョン 3.0.0 にバージョンアップし、権限削除プログラムをまだ実行していない場合、権限削除プログラムを実行します。権限削除プログラムを実行することで、不具合によってユーザーに付与された権限を削除できます。

注意

- バージョン 3.0.0 のガルーンで、メッセージに権限を設定している場合、ガルーンをバージョン 3.0.0 にバージョンアップした日を引数(before=YYYY-MM-DD)に指定して、スクリプトファイルを実行することを推奨します。
- バージョンアップした日付より後の日付を指定すると、メッセージを変更および削除する権限のすべてが削除される場合があります。

補足

- ガルーン 3.0 Service Pack 3 で権限削除プログラムを実行している場合は、バージョン 3.5.0 のガルーンで権限削除プログラムを実行する必要はありません。
- バージョン 2.5.4 以前から、バージョン 3.0.0 にバージョンアップせずに、バージョン 3.1.0 以降のバージョンにバージョンアップした場合は、権限削除プログラムを実行する必要はありません。

コマンドの引数、各環境での実行方法およびログファイルについて説明します。

コマンドの引数について

exec	権限を削除します。exec を省略すると、権限を削除されるメッセージの数が表示されます。
before=YYYY-MM-DD	指定した日付(YYYY-MM-DD)より前に付与された権限を削除します。

Windows 環境

- 1 grn_command.exe が保存されているディレクトリーに移動します。

```
cd C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn
```

- 2 次のコマンドを実行します。

```
¥grn_command.exe -f code¥command¥delete_messages_maintainer.csp (引数)
```

Linux 環境

- 1 grn_command が保存されているディレクトリーに移動します。

```
cd /var/www/cgi-bin/cbgrn
```

- 2 次のコマンドを実行します。

```
./grn_command -f code/command/delete_messages_maintainer.csp (引数)
```

ログファイルについて

権限削除プログラムが正常に終了したかどうか、ログファイルで確認できます。

既定のディレクトリーにガルーンをインストールしている場合は、次のファイルにログが出力されます。

- Windows 環境
C:\inetpub\scripts\cbgrn\delete_messages_maintainer.log
- Linux 環境
/var/www/cgi-bin/cbgrn/delete_messages_maintainer.log

delete_messages_maintainer.log の例

- Windows 環境

引数に before=YYYY-MM-DD だけを使用した場合の例です。

```
2011-11-20 17:36:01 Writing to log file: C:\inetpub\scripts\cbgrn
¥delete_messages_maintainer.log
2011-11-20 17:36:01 Garoon: Version 3.5.0
2011-11-20 17:36:01 Operating System: Windows NT WIN-M4VN83DUUIV 6.1
build 7600 ((null)) i586
2011-11-20 17:36:01 Command Line Parameters: before='2010-03-01'
2011-11-20 17:36:01 Starting
2011-11-20 17:36:01 Done in 0 seconds: Hit 3 records. _____ a)
```

a) : 権限が削除される予定のメッセージの件数

すべての引数を使用した場合の例です。

```
2011-11-20 17:38:16 Writing to log file: C:\inetpub\scripts\cbgrn
¥delete_messages_maintainer.log
2011-11-20 17:38:16 Garoon: Version 3.5.0
2011-11-20 17:38:16 Operating System: Windows NT WIN-M4VN83DUUIV 6.1
build 7600 ((null)) i586
2011-11-20 17:38:16 Command Line Parameters: before='2010-03-01'
exec
2011-11-20 17:38:16 Starting
2011-11-20 17:38:16 Deleted maintainer of mid=5. _____ a)
2011-11-20 17:38:16 Deleted maintainer of mid=6.
2011-11-20 17:38:16 Deleted maintainer of mid=7.
2011-11-20 17:38:16 Done in 0 seconds: Deleted maintainer 3 records. _____ b)
```

a) : メッセージ (mid5) に付与された権限の削除

b) : 権限が削除される予定のメッセージの件数

- Linux 環境

```
2011-11-20 11:13:01 Writing to log file: /usr/local/apache2/cgi-bin/cbgrn/delete_messages_maintainer.log
2011-11-20 11:13:01 Usage: delete_messages_maintainer.csp [OPTION] ...
2011-11-20 11:13:01
2011-11-20 11:13:01 Mandatory Options:
2011-11-20 11:13:01 before=YYYY-MM-DD _____ Process items that have been modified prior to this date
```

2011-11-20 11:13:01	
2011-11-20 11:13:01 Other Options:	
2011-11-20 11:13:01 exec	When specified, actually make changes to the system
2011-11-20 11:13:01 help	Show this help message

3.3.6 PHP ポートレットを確認する

バージョン 3.5.0 より前のガルーンを最新のガルーンにバージョンアップすると、PHP ポートレットは非公開に設定されます。バージョンアップ後も同じ PHP ポートレットを使用する場合は、エラーが発生しないことを確認してから公開してください。

注意

- php.ini ファイルの error_reporting の設定値が変更されたことによって、古いバージョンの PHP を使用している PHP ポートレットを使うとエラーが発生する場合があります。
対応するガルーンと PHP のバージョンは、次のとおりです。
 - ガルーン バージョン 3.1.0 まで: PHP4
 - ガルーン バージョン 3.1.0 以降: PHP5

3.3.7 LDAP に SSL で接続する場合の確認事項

ガルーンで利用している LDAP に SSL で接続する場合は、接続のための設定が必要です。設定の手順については、弊社の Web サイトを参照してください。

<http://manual.cybozu.co.jp/tech/sslsetup.html>

補足

- Windows 環境で SSL を使用する場合は、弊社の Web サイトで制限事項を確認してください。
<https://support.cybozu.com/ja-JP/article/4139>

3.3.8 リモートサービスの製品情報を更新する

バージョン 2.5.3 以前のガルーンでリモートサービスを使用している場合は、バージョン 3.5.0 にバージョンアップした後、リモートサービス側で製品情報を更新します。

製品情報を更新しないと、リモートサービスを經由してガルーンを使用するときに、ファイル一括添付が使用できません。

次のいずれかの方法でリモートサービスの製品情報を更新します。

- リモートサービスを最新版にバージョンアップしてから「製品情報の更新」を行う
- リモートサービスからガルーンの製品情報を一度削除し、再度同じ製品を追加する
製品を追加した後、リモートサービス利用ユーザーの再登録が必要です。

補足

- リモートサービスの設定については、次のマニュアルを参照してください。
サイボウズ リモートサービス マニュアル: <http://manual.cybozu.co.jp/remote/>

3.4 バージョンアップに失敗したガルーンの復旧方法

バージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップできなかった場合は、次の手順で元のバージョンのガルーンに復旧します。

1 バージョンアップのログをバックアップします。

失敗したバージョンアップのログをバックアップします。このログは、失敗の原因を調査する際に必要です。バックアップが必要なログは、次のページを参照してください。

「3.3.1 ログを確認する」 - 43 ページ

2 バージョン 3.5.0 のガルーンをアンインストールします。

アンインストール方法は「完全アンインストール」を指定します。

「4 章 アンインストールする」 - 50 ページ

3 元のバージョンのガルーンを新規でインストールします。

バージョンアップ前にガルーンの Service Pack を適用していた場合は、同じ Service Pack を適用します。

インストール方法は、各バージョンのインストールマニュアルを参照してください。

<http://manual.cybozu.co.jp/garoon3/index.html#01>

4 バックアップしたガルーンのリストアをします。

バージョンアップ前にバックアップしたガルーンのリストアを、手順 3 でインストールしたガルーンにリストアします。

データのリストア方法は、各バージョンの管理者マニュアルを参照してください。

<http://manual.cybozu.co.jp/garoon3/index.html#02>

補足

- 上記以外の方法で元のガルーンに復旧することはできません。

4章 アンインストールする

ガルーンをアンインストールする手順を説明します。

4.1 Windows 環境でアンインストールする

Windows 環境で、ガルーンをアンインストールする手順を説明します。

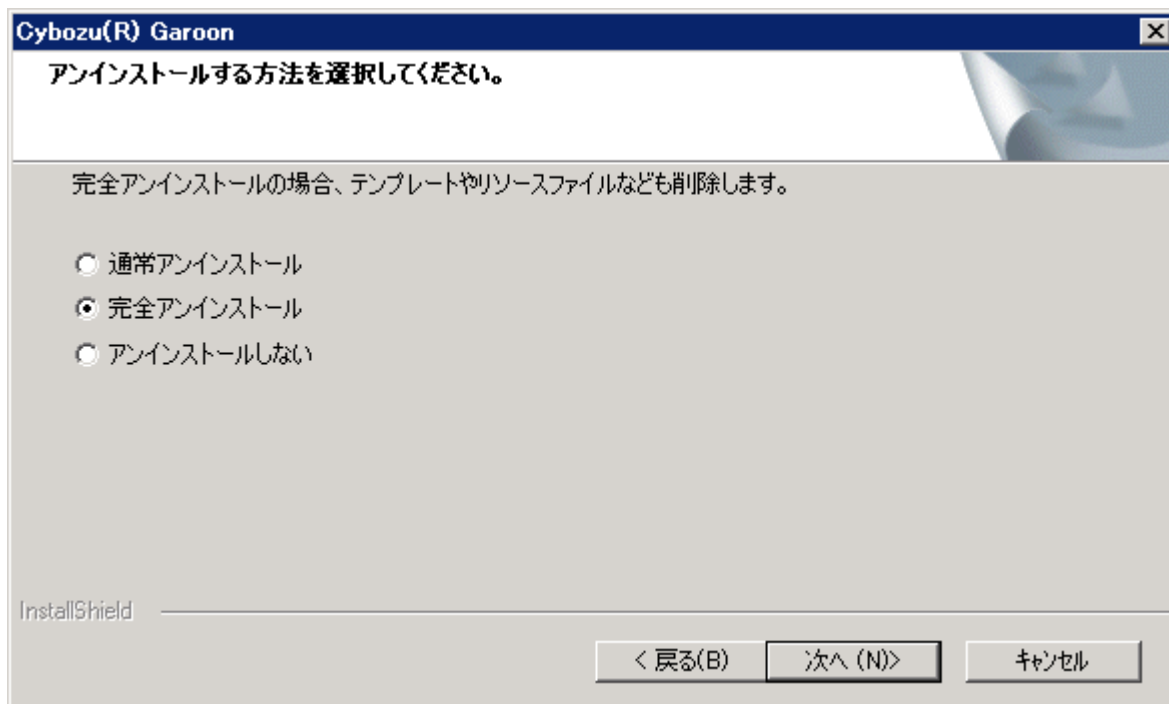
注意

- 下記の手順に従ってアンインストールしないと、完全にアンインストールできない場合があります。

- 1 サーバマシンに、インストール先のサーバの Administrator 権限を持つユーザーでログインします。
- 2 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [プログラムと機能]の順に選択します。
- 3 「プログラムと機能」画面で、「Cybozu(R) Garoon 3.5.0 (cbgrn)」を選択し、[アンインストール]をクリックします。
- 4 「完全アンインストール」を選択し、[次へ]をクリックします。

アンインストールが始まります。

アンインストールを中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。

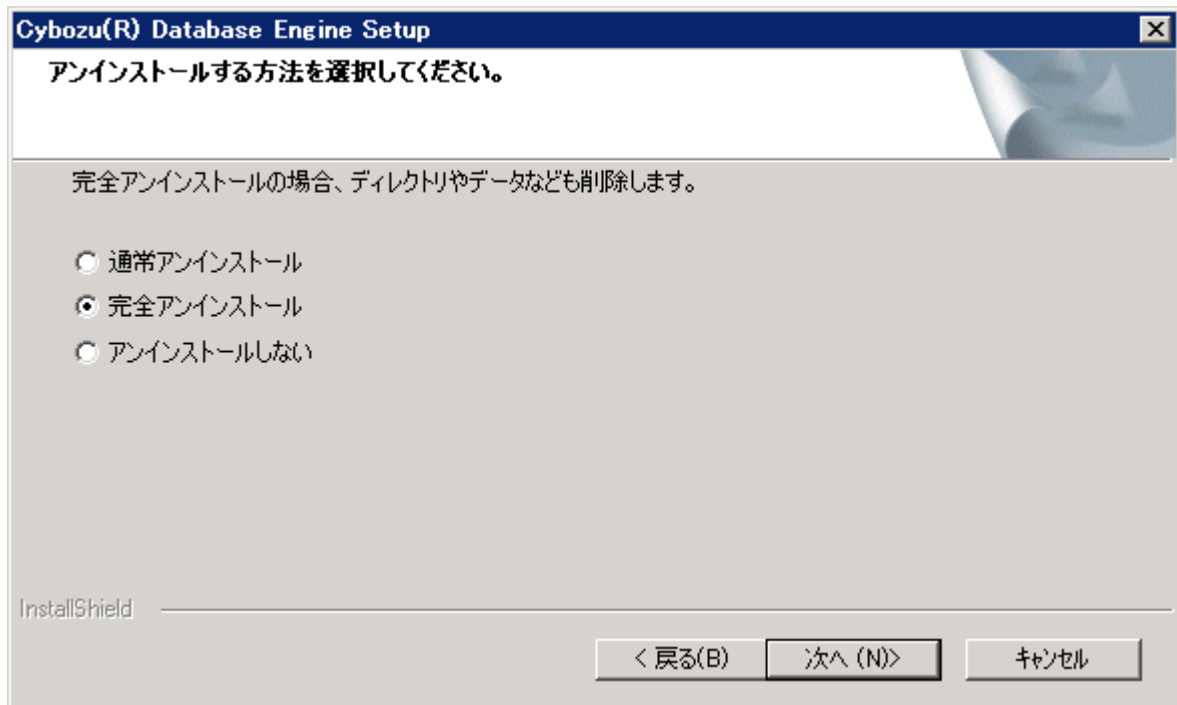


- 5 「メンテナンスの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
次に「Cybozu(R) Database Engine 5.0」を削除します。
- 6 「プログラムと機能」画面で、「Cybozu(R) Database Engine 5.0」を選択し、[アンインストール]をクリックします。

7 「完全アンインストール」を選択し、[次へ]をクリックします。

アンインストールが始まります。

アンインストールを中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。



4.2 Linux 環境でアンインストールする

Linux 環境で、ガルーンをアンインストールする手順を説明します。アンインストールには、インストーラーを使用します。

注意

- 下記の手順に従ってアンインストールしないと、完全にアンインストールできない場合があります。

- 1 サーバマシンに、root ユーザーでログインします。
- 2 インストーラーが存在するディレクトリーに移動します。
- 3 インストーラーを実行します。

- 64bit のインストーラーを使用した場合

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.5.0b-linux-x64.bin
```

- 32bit のインストーラーを使用した場合

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.5.0b-linux.bin
```

- 4 表示された内容に従って、Y キーまたは N キーを押し、Enter キーを押します。

このメッセージが正しく表示されている場合は Y を入力します。

If the above message is displayed correctly, type 'Y', otherwise type 'N'.

- 5 試用許諾契約を確認し、同意する場合は yes を入力し、Enter キーを押します。

画面をスクロールする場合は、Space または Enter キーを押します。

試用許諾契約に同意しない場合は、「no」を入力し、Enter キーを押します。インストーラーが終了します。

- 6 アンインストールするガルーンのインストール識別子を確認します。

- 7 インストール識別子を入力し、Enter キーを押します。

- 8 製品を完全にアンインストールする場合は、「3」を入力し、Enter キーを押します。

設定ファイルやデータベースファイルなどのリソースを残して、アンインストールする場合は、「2」を入力します。

- 9 サイボウズ データベースエンジンを完全にアンインストールする場合は、「3」を入力し、Enter キーを押します。

これで作業は終了です。

付録A サービスの停止方法と起動方法

スケジューリングサービスとサイボウズ データベースエンジンの、停止方法と起動方法を説明します。ここでは、インストール識別子を「cbgrn」に設定した場合を例に説明します。

注意

- インストール先のサーバーの Administrator 権限を持つユーザーまたは root ユーザーで作業を行います。

付録A.1 サービスを停止する

スケジューリングサービス、サイボウズ データベースエンジンの順に停止します。

Windows 環境

- Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択します。
- 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。
- 「Cybozu_Database_Engine_5_0」を選択し、[サービスの停止]をクリックします。

Linux 環境

- スケジューリングサービスを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn stop
```

- サイボウズデータベースエンジンを停止します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 stop
```

付録A.2 サービスを起動する

サイボウズ データベースエンジン、スケジューリングサービスの順に起動します。

Windows 環境

- Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択します。
- 「Cybozu_Database_Engine_5_0」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。
- 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの開始]をクリックします。

Linux 環境

- サイボウズデータベースエンジンを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 start
```

- スケジューリングサービスを起動します。

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn start
```

付録B ファイル構成

インストール識別子を「cbgrn」に設定した場合を例に、ガルーン のファイル構成を説明します。インストールされるファイルは、次の 3 つに分類されます。

- CGI アプリケーション
- サイボウズ データベースエンジン
- 画像ファイル

付録B.1 Windows 環境のファイル構成

CGI アプリケーション

ガルーンの CGI アプリケーションは、インストール時に指定した CGI 実行可能ディレクトリーにインストールされます。CGI アプリケーションのファイルは、CGI 実行可能ディレクトリーの下、インストール識別子と同じ名称のディレクトリーに保存されます。

- CGI 実行可能ディレクトリーの例 : C:\inetpub\scripts

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

C:\inetpub\scripts	CGI 実行可能ディレクトリー
└─cbgrn	インストール識別子
└─code	ガルーンのプログラム
└─command	
└─doc_root	
└─include	
└─pear	
└─plugin	
└─sched	
└─smarty	
└─db	
└─extensions	PHP の機能拡張に必要なファイル
└─grn	ガルーンの設定に必要な情報
└─initialize	
└─local	ガルーンの言語別リソース
└─page	ガルーンのテンプレートファイル
└─sessiondata	PHP のセッションデータ
└─smarty	
└─cached	smarty ライブラリーのキャッシュデータ
└─compiled	smarty ライブラリーのコンパイル済みテンプレート
└─tmp	PHP スクリプト内で一時的に作成されるデータ
└─upload	一時的に保管される PHP アップロードファイル
└─cacher.ini	
└─cbsearch.ini	
└─common.ini	
└─common.lic	
└─db_error.log	
└─delete_user.log	
└─garoo.ini	

```

|¥garoon_lwc.ini
|¥garoon_policy.ini
|¥grn.exe
|¥libmysql.dll
|¥License.txt
|¥logger.ini
|¥lwc.ini
|¥php4ts.dll
|¥php.ini
|¥profile.ini
|¥sched.exe
|¥sched.ini
|¥sched.log
|¥state.ini
|¥system_admin.ini

```

サイボウズ データベースエンジン

サイボウズ データベースエンジンのファイルは、インストールした時に指定したインストールディレクトリーに保存されます。

- インストールディレクトリーの例 : C:¥Program Files¥Cybozu

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

C:¥Program Files¥Cybozu	インストールディレクトリー
¥mysql-5.0	サイボウズ データベースエンジンのファイル
¥bin	
¥my_print_defaults.exe	
¥mysql.exe	
¥mysql_upgrade.exe	
¥mysqladmin.exe	
¥mysqlbinlog.exe	
¥mysqlcheck.exe	
¥mysqld.exe	
¥mysqldump.exe	
¥mysqlimport.exe	
¥data	データベースエンジンのデータやログ
¥cb_cbgrn	
¥mysql	
¥error.log	
¥slow.log	
¥ib_logfile0	
¥ib_logfile1	
¥ib_logfile2	
¥ibdata1	
¥mysql.pid	
¥etc	
¥Samples	
¥my.ini	
¥files	ガルーンの添付ファイル
¥cbgrn	

└%share	
└%charsets	
└%english	
└%tmp	
└%cb_version	

画像ファイル

画像ファイルは、インストール識別子と同じ名称のディレクトリーに保存されます。

- ドキュメントルートディレクトリーの例: C:%inetpub%wwwroot

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

C:%inetpub%wwwroot	ドキュメントルートディレクトリー
└%cbgrn	インストール識別子
└%3rd_party_license	サードパーティライセンス情報
└%api	関連製品で使用するファイル
└%fw	フレームワークに関する画像ファイルなど
└%grn	ガルーンに関する画像ファイルなど
└%flash	
└%html	
└%image	
└%cybozu	
└%help	ガルーンのヘルプに使用するファイル
└%re	書式編集に関する画像ファイルなど
└%html	
└%image	

付録B.2 Linux 環境のファイル構成

CGI アプリケーション

ガルーンの CGI アプリケーションは、インストール時に指定した CGI 実行可能ディレクトリーにインストールされます。CGI アプリケーションのファイルは、CGI 実行可能ディレクトリーの下、インストール識別子と同じ名称のディレクトリーに保存されます。

- CGI 実行可能ディレクトリーの例: /var/www/cgi-bin

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

/var/www/cgi-bin	CGI 実行可能ディレクトリー
└%cbgrn	インストール識別子
└code	ガルーンのプログラム
└command	
└doc_root	
└include	
└pear	
└plugin	
└sched	
└smarty	
└extensions	PHP の機能拡張に必要なファイル
└grn	ガルーンの設定に必要な情報
└locale	ガルーンのリソース情報

└/page	ガルーンのテンプレートファイル
└/sessiondata	PHP のセッションデータ
└/smarty	
└/cached	smarty ライブラリーのキャッシュデータ
└/compiled	smarty ライブラリーのコンパイル済みテンプレート
└/tmp	PHP スクリプト内で一時的に作成されるデータ
└/upload_tmp	一時的に保管される PHP のアップロードファイル
└/cacher.ini	
└/cbsearch.ini	
└/common.ini	
└/common.lic	
└/cyss_cbgrn.pid	
└/db_error.log	
└/garoon.ini	
└/garoon_lwc.ini	
└/garoon_policy.ini	
└/grn.cgi	
└/grn.exe	
└/LICENSE.txt	
└/logger.ini	
└/lwc.ini	
└/php.ini	
└/profile.ini	
└/sched	
└/sched.ini	
└/sched.log	
└/script.log	
└/state.ini	
└/system_admin.ini	
└/uninstall_cbgrn	

サイボウズ データベースエンジン

サイボウズ データベースエンジンのファイルは、インストールした時に指定したインストールディレクトリーに保存されます。

- インストールディレクトリーの例: /usr/local/cybozu

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

/usr/local/cybozu	サイボウズ データベースエンジンに関するファイル類
└/mysql-5.0	
└/bin	
└/my_print_defaults	
└/mysql	
└/mysql_upgrade	
└/mysqladmin	
└/mysqlbinlog	
└/mysqlcheck	
└/mysqld	
└/mysqld_safe	
└/mysqldump	
└/mysqlimport	

	└/data
	└/cb_cbgrn
	└/mysql-5.0
	└/error.log
	└/ib_logfile0
	└/ib_logfile1
	└/ib_logfile2
	└/ibdata1
	└/mysql.sock
	└/etc
	└/Samples
	└/my.ini
	└/files
	└/cbgrn
	└/share
	└/tmp
	└/cb_version
	└/uninstall_cyde_5_0
	└/openssl
	└/lib
	└/openldap
	└/etc
	└/lib

画像ファイル

画像ファイルは、インストール識別子と同じ名称のディレクトリーに保存されます。

- ドキュメントルートディレクトリーの例: /var/www/html

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

/var/www/html	ドキュメントルートディレクトリー
└/cbgrn	インストール識別子
└/3rd_party_license	サードパーティのライセンス情報
└/api	
└/fw	フレームワークに関する画像ファイルなど
└/grn	ガルーンに関する画像ファイルなど
└/flash	
└/html	
└/image	
└/cybozu	
└/help	ガルーンのヘルプに関するファイル
└/re	書式編集に関する画像ファイルなど
└/html	
└/image	

起動スクリプトファイル

起動スクリプトファイルは、起動スクリプトディレクトリーにインストールされます。

- 起動スクリプトディレクトリー例: /etc/rc.d/init.d

Cybozu データベースエンジン起動スクリプト	:/etc/rc.d/init.d/cyde_5_0
スケジューリングサービス起動スクリプト	:/etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn

索引

A

Administrator 権限..... 11, 31, 44, 50
Administrator ロール.....25

I

IIS6 の設定.....17
IIS7 の設定.....16

M

my.ini ファイル8, 26, 27, 43

R

root ユーザー..... 21, 39, 45, 52

S

SELinux.....20

W

Web サーバー
 Apache20, 38
 IIS10, 30

あ

インストール識別子 9, 13, 21, 40, 52

か

仮想化環境.....7
仮想ディレクトリー16, 23

さ

サービスの種類
 サイボウズ データベースエンジン53
 スケジューリングサービス.....53
実行可能ファイル16

実行ユーザー名 22
試用許諾契約 12, 21, 39, 52

た

タイムゾーン 24
ディレクトリー
 CGI 実行可能ディレクトリー 13, 22, 54, 56
 インストールディレクトリー 12, 21, 55, 57
 起動スクリプトディレクトリー 59
 ドキュメントルートディレクトリー 14, 22, 56, 58
動作環境
 対応 OS..... 6
 対応 Web サーバー 6
 対応 Web ブラウザー 7

は

パスワード
 Administrator のパスワード..... 17
 データベース管理ユーザーのパスワード..... 9
ポート番号の設定 8

ま

メールサーバー 7
 認証形式 7
 プロトコル..... 7

や

ユーザー情報の入力項目 26

ら

ログ
 MySQL のバージョンアップログ 33
 インストールログ 16, 23, 33
 初期化のログ 33
 バージョンアップログ 33

お問い合わせ先 <http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/>

発行日 2016年8月 第4.6版発行

発行者 サイボウズ株式会社

Copyright (C) 2010-2016 Cybozu

サイボウズ ガルーン バージョン 3.5 インストールマニュアル